平成 29 年度 東吾妻町都市計画マスタープラン策定業務

住民意向調査分析結果 報告書

平成30年3月

東吾妻町

目 次

はじめに		. 1
第1章	町民まちづくりアンケートの集計・分析	. 3
1-1.	調査概要	4
1-1-1		
1-1-2		
1-1-3		
1-1-4		
1-1-5	標本誤差について	5
1-2.	調査結果の集計	6
1-2-1	回答者の属性:問1	6
1-2-2	行動と移動手段:問2	9
1-2-3	お住いの地域の現状評価:問3	. 12
1-2-4	お住いの地域の特徴:問4	. 16
1-2-5	本町の将来像:問5	. 18
1-2-6	今後のまちづくりの取り組み:問6	. 20
1-3.	クロス集計・分析	. 22
1-3-1	地区別	. 22
(1)	お住いの地域の現状評価:問3	. 22
(2)	本町の将来像:問5	. 41
	今後のまちづくりの取り組み:問6	
1-3-2	年齢層別	. 45
	お住いの地域の特徴:問4	
	本町の将来像:問5	
(3)	今後のまちづくりの取り組み:問6	. 49
第2章	中学生まちづくりアンケート調査の集計・分析	51
2 – 1.	調査概要	52
2-1-1	調査の目的	. 52
2-1-2	中学生アンケートの実施概況	. 52
2-1-3	アンケート調査の回収結果	. 52
2-1-4	調査結果の見方	. 52
2-2.	調査結果の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 53
2-2-1	ご自身のことについて	. 53
2-2-2	ご自身の行動について	. 55
2-2-3	現在の東吾妻町について	. 59

	2-2-4	将来の東吾妻町について	65
	2-2-5	調査結果のまとめ	69
第3	章	総合計画策定のための町民アンケート調査を活用した分析	71
3	-1 .	調査概要	72
	3-1-1	調査の目的	72
	3-1-2	調査の実施概要	72
	3-1-3	アンケート調査の回収結果	72
	3-1-4	調査結果の見方	72
3	-2 .	調査結果の集計・分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73
	3-2-1	町が現在取り組んでいるまちづくりの施策の重要度・満足度	73
	3-2-2	まちづくりへの関与の意向	78
第 4	章	アンケート分析のまとめ	79
4	-1 .	土地利用	80
4	-2 .	都市施設	82
4	-з.	都市環境	83
4	-4 .	都市景観	84
4	-5 .	防災対策	85
4	- 6.	本町の将来像	85

はじめに

1. 分析に活用するアンケート

「東吾妻町都市計画マスタープラン」の策定にあたり、本町で実施した3つのアンケート調査 を活用し、町民の意見・意向の把握、分析を行います。

①町民まちづくりアンケート

- ・「東吾妻町都市計画マスタープラン」の策定のために、18歳以上の町民の意見・意向を把握するとともに、計画への反映を検討する基礎的資料をとりまとめるために実施したアンケート
- ・「③総合計画策定のための町民アンケート」の分析項目との重複を避けるよう設問を設定

②中学生まちづくりアンケート

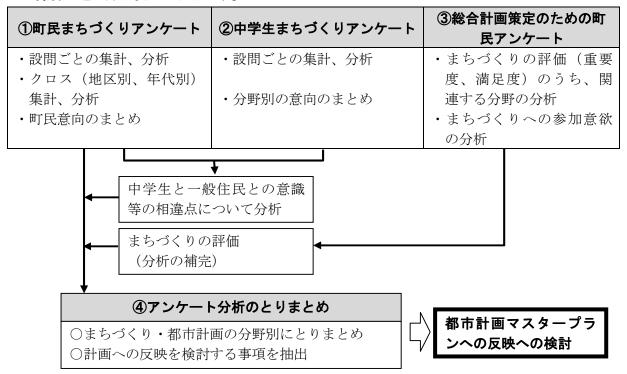
・「東吾妻町都市計画マスタープラン」の策定のために、本町の次世代を担う若者世代の考 えを把握するため、中学生を対象に実施したアンケート

③総合計画策定のための町民アンケート

- ・「東吾妻町第2次総合計画」の策定のために、町民意向を把握するために実施したアンケート
- ・調査結果のうち、「東吾妻町都市計画マスタープラン」に関連する「都市計画・まちづくり」に関わる事項を抽出して、「①町民まちづくりアンケート」の分析を補完

2. 分析の進め方

分析の進め方は次のとおりです。



第1章 町民まちづくりアンケートの集計・分析

1-1. 調査概要

1-1-1 調査の目的

「東吾妻町都市計画マスタープラン」の策定にあたって、「町民まちづくりアンケート」を 実施し、現在のまちの問題・課題や将来のまちづくり等に関する町民の意見を把握・分析する ことを目的とします。この分析結果を基に住民意向を取りまとめ、計画への反映を検討してい く基礎的資料として活用するものです。

1-1-2 町民まちづくりアンケートの実施概況

(1)調査対象者

○18 歳以上の町民 1,800 名 (無作為抽出)

(2)調査方法

○郵送による配布・回収

(3)調査期間

○配布日 : 平成 29 年 11 月 27 日 (月) ○回収期限: 平成 29 年 12 月 11 日 (月)

1-1-3 アンケート調査の回収結果

○回収数: 836 票 ○回収率: 46.4%

1-1-4 調査結果の見方

- ○集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、数値の合計は 100.0%にならない場合があります。
- ○回答の比率(%)は、その質問の回答者を基数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。

1-1-5 標本誤差について

アンケート調査は標本調査であり、一定の範囲で誤差が含まれる可能性があります。それ は次式によって与えられます。

標本誤差=
$$\pm 1.96$$
 $\sqrt{\begin{array}{c} N-n \\ N-1 \end{array}} \times \begin{array}{c} p = 回答率 \\ n \end{array}$ $n = f$ 如 $n = f$ 和 $n = f$

回答比率(p)	10%または	20%または	30%または	40%または	50%前後
基数(n)	90%前後	80%前後	70%前後	60%前後	
836 人	±1.96%	$\pm 2.71\%$	±3.11%	±3.32%	±3.39%

※回答率:アンケートに回答した人の割合

※有効回収数:調査後に回収した回答から無効なものを除いた回収数

※上表は $\frac{N-n}{N-1}$ $\stackrel{>}{=}$ 1 として算出しています。なお、この表の計算式の信頼度は 95%です。

標本誤差とは、今回のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、 全体を対象に行った調査と比べ、一定の範囲で誤差が含まれる可能性があります。

この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なりますが、その誤差を数学的に計算することが可能です。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが上表となっております。

例として、回答率が 50%前後の場合、誤差は ± 3.39 %程度となります。これは、この回答率の真の値は $46.61\sim53.39$ %(50 ± 3.39 %)の間に含まれることを意味します。

1-2. 調査結果の集計

1-2-1 回答者の属性:問1

(1) 単純集計

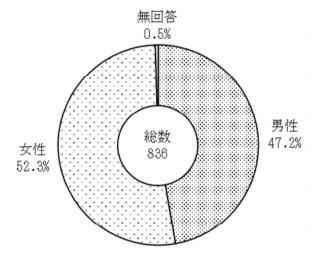
問1 回答者自身のことについて

(1) 性別をお答えください。 (該当する番号1つに○)

回答者の割合は、「男性」が 47.2%に対して「女性」が 52.3%であり、「女性」が 5.1 ポイン ト上回っています。

【問1 全体集計】

·	回答者数	比率(%)
男性	395	47.2
女性	437	52.3
無回答	4	0.5
合計	836	100.0



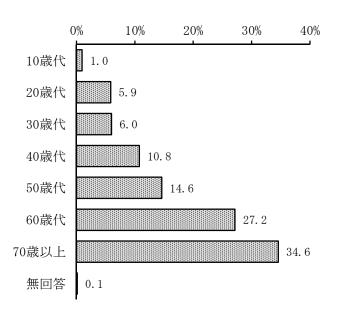
(2)年齢をお答えください。

(該当する番号1つに○)

年代別では、「70歳以上」が34.6%で最も多く、次いで「60歳代」が27.2%で続いており、60 歳代以上の高齢者層で6割を超えています。

【問2 全体集計】

	回答者数	比率(%)
	凹口召奴	10十(70)
10歳代	8	1.0
20歳代	49	5.9
30歳代	50	6.0
40歳代	90	10.8
50歳代	122	14.6
60歳代	227	27.2
70歳以上	289	34.6
無回答	1	0.1
合計	836	100.0



(3) 職業をお答えください。

(該当する番号1つに○)

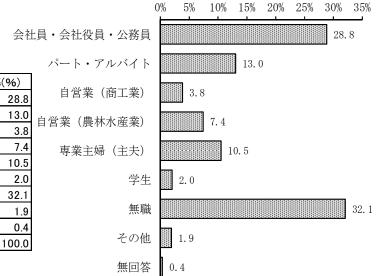
職業別では、「無職」が 32.1%で最も多く、次いで「会社員・会社役員・公務員」が 28.8%となっています。



16

3

836



(4) お住いの地区をお答えください。

(該当する番号1つに○)

地区別では、「原町地区」が 27.3%で最も多く、次いで「岩島地区」が 22.2%となっており、両地区で約半数となっています。「坂上地区」「太田地区」「東地区」はいずれも 10%台となっています。

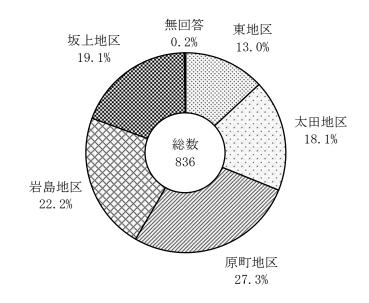
【問4 全体集計】

その他

無回答

合計

	回答者数	比率(%)
東地区	109	13.0
太田地区	151	18.1
原町地区	228	27.3
岩島地区	186	22.2
坂上地区	160	19.1
無回答	2	0.2
合計	836	100.0



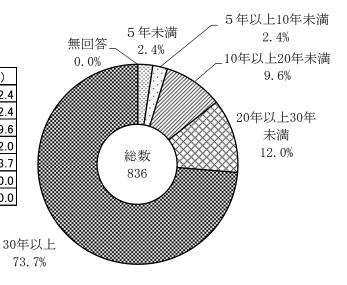
(5) 東吾妻町での居住年数をお答えください。

(該当する番号1つに○)

居住年数では、「30年以上」が73.7%となっており、長年に渡って本町に住まわれている方が大半を占めています。

【問5 全体集計】

	回答者数	比率(%)
5年未満	20	2.4
5年以上10年未満	20	2.4
10年以上20年未満	80	9.6
20年以上30年未満	100	12.0
30年以上	616	73.7
無回答	0	0.0
合計	836	100.0



(2)回答者の属性のまとめ

- ○性別は、「女性」の回答がやや多くなっています。
- ○年齢は 60 歳以上の高齢者層、職業は無職またはお勤めの方(会社員・会社役員・公務員) が 6 割以上を占めています。
- ○お住いの地区は、「原町地区」の回答がやや多くなっているものの、人口比率に合わせて各地区偏りなく、ほぼ平均的に回答を得ています。
- ○居住年数は、ほとんどの方々が 30 年以上の長年に渡って住まわれており、60 歳以上の高齢 者層の回答が多いことと一致しています。

1-2-2 行動と移動手段:問2

(1) 単純集計

問2 ご自身の行動についてお聞かせください。次表の $(1)\sim(6)$ の行動をするときの主な行き 先とその際の代表的な移動手段をお答えください。(該当する番号を、行き先は【選択肢A】 から1つ、移動手段は【選択肢B】から1つ選んで回答欄に記入)

①通勤又は日常的な業務・通学

行き先では、「住まいの地区内」が 23.8%で最も多く、次いで、「住まいの地区以外の、東吾妻町内の他地区」が 15.9%、「中之条町」が 7.7%で続いており、約半数が本町内で行動が行われています。なお、「行動しない」と「無回答」を合わせて 35.5%となっており、職業が「無職」の方の回答が影響しているものと考えられます。

移動手段では、「自動車・自動二輪車(自身の運転)」が50.4%で過半数を占めています。次いで、「徒歩」が5.6%、「自動車・自動二輪車(家族・友人知人等の運転)」が4.7%となっており、いずれも10%未満となっています。

②日常の買物

行き先では、「住まいの地区以外の、東吾妻町内の他地区」が 38.0%で最も多く、次いで、「住まいの地区内」が 27.4%となっており、本町内での行動が 6 割超を占めています。

移動手段では、「自動車・自動二輪車(自身の運転)」が 62.2%で最も多く、次いで、「自動車・自動二輪車(家族・友人知人等の運転)」が 12.7%となっており、大半が自動車等での移動となっています。「徒歩」、「自転車」はいずれも 3%未満であり、また、「鉄道」、「路線バス(乗合バス)」の公共交通もほとんど利用されていません。

③休日の買物

行き先では、「高崎市」が 17.2%で最も多く、次いで、「その他の群馬県内」が 15.8%となっており、高崎市をはじめとする他都市に行動が依存されています。また、隣接する「中之条町」と「渋川市」は合わせて 11.7%、「住まいの地区内」と「住まいの地区以外の、東吾妻町内の他地区」を合わせた本町内での行動は 24.3%となっています。

移動手段では、「自動車・自動二輪車(自身の運転)」が 52.2%で最も多く、次いで、「自動車・自動二輪車(家族・友人知人等の運転)」が 16.4%となっており、大半が自動車等での移動となっています。また、「鉄道」、「路線バス(乗合バス)」の公共交通はほとんど利用されていないことなど、その傾向は「(2)日常の買物」と同様となっています。

④医療機関

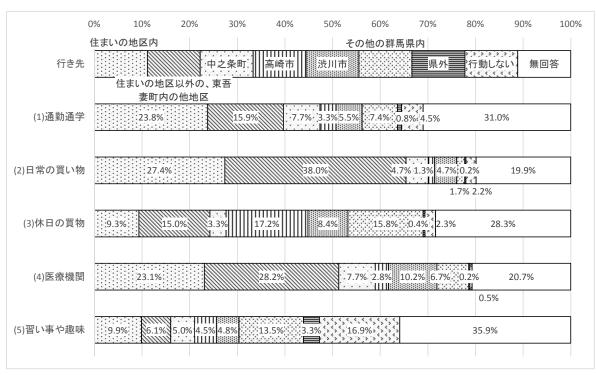
行き先では、「住まいの地区以外の、東吾妻町内の他地区」が 28.2%で最も多く、次いで、「住まいの地区内」が 23.1%となっており、本町内での行動が過半数となっています。周辺都市では、「渋川市」が 10.2%、「中之条町」が 7.7%の順となっています。

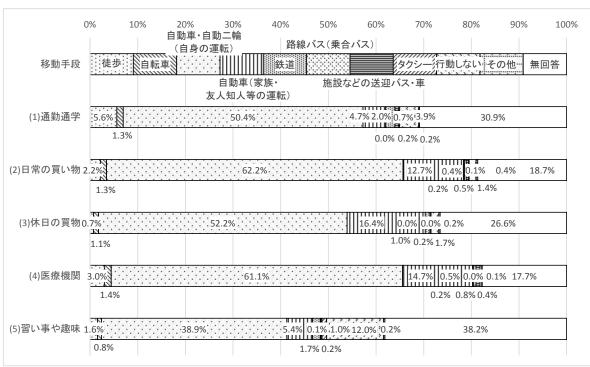
移動手段では、「自動車・自動二輪車(自身の運転)」が 61.1%で最も多く、次いで、「自動車・自動二輪車(家族・友人知人等の運転)」が 14.7%となっており、大半が自動車等での移動となっています。

⑤習い事や趣味

行き先では、「行動しない」が 16.9%、「無回答」が 35.9%であり、町民においては「習い事や趣味」ではあまり行動しない状況が伺えます。行動する方では、「その他の群馬県内」が 13.5%で最も多く、行動圏域が広い範囲になっています。また、本町内においては、「住まいの地区内」が 9.9%、「住まいの地区以外の、東吾妻町内の他地区」が 6.1%となっています。

移動手段では、「自動車・自動二輪車(自身の運転)」が 38.9%で最も多く、行動する方の大 半の移動手段となっています。





	行動目的	(1)通勤·業務· 通学	(2)日常の買い 物	(3)休日の買物	(4)医療機関	(5)習い事や趣 味	(6)その他			
	住まいの地区内	199	229	78	193	83	12			
選択肢A	住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区	133	318	125	236	51	3			
	中之条町	64	39	28	64	42	17			
	高崎市	28	11	144	23	38	10			
行き先	渋川市	46	39	70	85	40	4			
11676	その他の群馬県内	62	14	132	56	113	28			
	県外	7	2	3	2	28	25			
	行動しない	38	18	19	4	141	61			
	無回答	259	166	237	173	300	676			
	徒歩	47	18	6	25	13	7			
	自転車	11	11	9	12	7	0			
	自動車・自動二輪(自身 の運転)	421	520	436	511	325	68			
	自動車(家族・友人知人 等の運転)	39	106	137	123	45	9			
	鉄道	17	2	8	2	14	14			
移動手段	路線バス(乗合バス)	0	3	0	4	1	1			
	施設などの送迎バス・車	6	4	2	7	2	2			
	タクシー	2	1	0	0	8	4			
	行動しない	33	12	14	3	100	52			
	その他	2	3	2	1	2	2			
	無回答	258	156	222	148	319	677			
	行動目的	(1)通勤·業務· 通学	(2)日常の買い 物	(3)休日の買物	(4)医療機関	(5)習い事や趣 味	(6)その他			
	行動目的 住まいの地区内			(3)休日の買物 9.3%	(4)医療機関		(6)その他			
		通学	物			味	1.4%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東	<u>通学</u> 23.8%	<u>物</u> 27.4%	9.3%	23.1%	9.9%	1.4%			
選択肢A	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区	通学 23.8% 15.9%	物 27.4% 38.0%	9.3%	23.1%	味 9.9% 6.1%	1.4%			
選択肢A 行き先	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町	通学 23.8% 15.9% 7.7%	物 27.4% 38.0% 4.7%	9.3% 15.0% 3.3%	23.1% 28.2% 7.7%	9.9% 6.1% 5.0%	1.4% 0.4% 2.0%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 1.7%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 1.7% 0.2%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 0.5%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 0.5% 20.7%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答 徒歩	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3% 0.7%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 0.5% 20.7%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9% 0.8%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8%			
	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答 徒歩 自転車 自動車・自動二輪(自身	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0% 5.6% 1.3%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9% 2.2% 1.3%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3% 0.7% 1.1%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 20.7% 3.0% 1.4%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9% 0.8% 38.9%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8% 0.0%			
行き先 選択肢B	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答 徒歩 自転車 自動車・自動二輪(自身 の運転) 自動車(家族・友人知人	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0% 5.6% 1.3% 50.4%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9% 2.2% 1.3% 62.2%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3% 0.7% 1.1% 52.2%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 20.7% 3.0% 1.4% 61.1%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9% 0.8% 38.9%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8% 0.0% 8.1%			
行き先	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答 徒歩 自転車 自動車・自動二輪(自身 の運転) 自動車(家族・友人知人 等の運転)	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0% 5.6% 1.3% 50.4%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9% 2.2% 1.3% 62.2%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3% 0.7% 1.1% 52.2%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 0.5% 20.7% 3.0% 1.4% 61.1%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9% 0.8% 38.9%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8% 0.0% 8.1% 1.1%			
行き先 選択肢B	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答 徒歩 自転車 自動車・自動二輪(自身 の運転) 自動車(家族・友人知人 等の運転) 鉄道	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0% 5.6% 1.3% 50.4% 4.7%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9% 2.2% 13.3% 62.2%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3% 0.7% 1.1% 52.2%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 20.7% 3.0% 1.4% 61.1% 14.7% 0.2%	9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9% 1.6% 0.8% 38.9%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8% 0.0% 8.1% 1.1%			
行き先 選択肢B	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答 徒歩 自転車 自動車・自動二輪(自身 の運転) 自動車(家族・友人知人 等の運転) 鉄道 路線パス(乗合パス)	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0% 5.6% 1.3% 50.4% 4.7% 2.0% 0.0%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9% 2.2% 1.3% 62.2% 12.7% 0.2%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3% 0.7% 1.1% 52.2% 16.4% 1.0% 0.0% 0.2%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.25% 20.7% 3.0% 1.4% 61.1% 14.7% 0.2% 0.5%	味 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9% 1.6% 0.8% 38.9% 5.4%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8% 0.0% 8.1% 1.1% 1.7% 0.1% 0.2%			
行き先 選択肢B	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻町内の他地区 中之条町 高崎市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答 徒歩 自動車・自動二輪(自身 の運転) 自動車(家族・友人知人 等の運転) 鉄道 路線バス(乗合バス) 施設などの送迎バス・車	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0% 5.6% 1.3% 50.4% 4.7% 2.0% 0.0% 0.7%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9% 2.2% 1.3% 62.2% 12.7% 0.2% 0.4%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3% 0.7% 1.1% 52.2% 16.4% 1.0% 0.0% 0.2%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 20.7% 3.0% 1.4% 61.1% 14.7% 0.2% 0.5% 0.8%	B未 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9% 1.6% 0.8% 38.9% 5.4% 1.7% 0.1%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8% 0.0% 8.1% 1.1% 1.7% 0.1% 0.2%			
行き先 選択肢B	住まいの地区内 住まいの地区以外の、東 吾妻の中の他地区 中之衛市 渋川市 その他の群馬県内 県外 行動しない 無回答 徒歩 自動運転 自動運転 自動運転 自動の運転 と 鉄道 路線バス(乗合バス) 施設などの送迎バス・車 タクシー	通学 23.8% 15.9% 7.7% 3.3% 5.5% 7.4% 0.8% 4.5% 31.0% 5.6% 1.3% 50.4% 4.7% 2.0% 0.0% 0.7% 0.2%	物 27.4% 38.0% 4.7% 1.3% 4.7% 0.2% 2.2% 19.9% 2.2% 1.3% 62.2% 12.7% 0.2% 0.4%	9.3% 15.0% 3.3% 17.2% 8.4% 15.8% 0.4% 2.3% 28.3% 0.7% 1.1% 52.2% 16.4% 1.0% 0.0% 0.2% 0.0% 1.7%	23.1% 28.2% 7.7% 2.8% 10.2% 6.7% 0.2% 20.7% 3.0% 1.4% 61.1% 14.7% 0.2% 0.5% 0.8% 0.0%	B未 9.9% 6.1% 5.0% 4.5% 4.8% 13.5% 3.3% 16.9% 35.9% 1.6% 0.8% 38.9% 5.4% 1.7% 0.1% 0.2% 1.0%	1.4% 0.4% 2.0% 1.2% 0.5% 3.3% 3.0% 7.3% 80.9% 0.8% 0.0% 8.1% 1.1% 1.7% 0.1% 0.2% 0.5% 6.2%			

(2) 町民の行動のまとめ

- ○「通勤又は日常的な業務・通学」「日常の買物」「医療機関」では、本町内での行動が主となっています。
- ○「休日の買物」では、高崎市をはじめとする県内他都市に依存されています。
- ○「医療機関」では、本町内のほか隣接市町との繋がりがみられます。
- ○「習い事や趣味」では、町民の行動が少ないものの、行動範囲が広域化しています。
- ○移動手段においては、いずれの行動も「自動車・自動二輪」が大半であり、自動車等への依 存度が高い状況となっています。一方で、鉄道、路線バス等の公共交通はあまり利用されて いません。

1-2-3 お住いの地域の現状評価:問3

(1) 単純集計

問3 お住まいの地域の現状についてお聞かせ下さい。次表の(1)~(8)の項目ごとに、対策の「重要度」と「満足度」を評価してください。(それぞれ該当する番号1つに○)

①重要度

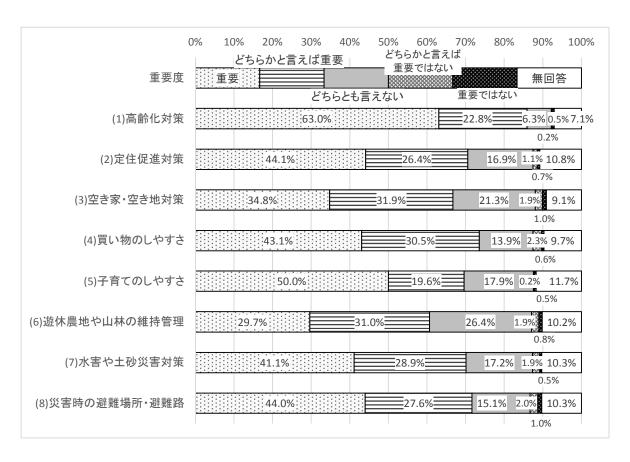
「重要」との回答は、(1)高齢化対策が 63.0%で最も高く、次いで、(5)子育てのしやすさが 50.0%で続き、過半数となっています。

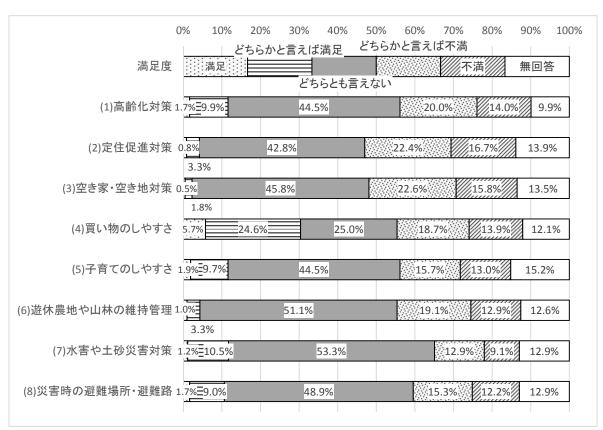
「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要な対策』では、「重要」と同様に(1)高齢化対策が85.9%で最も高く、次いで、(4)買い物のしやすさが73.6%、(8)災害時の避難場所・避難路が71.7%、(2)定住促進対策が70.6%の順で続いています。また、全ての項目で6割を超えており、各項目とも地域において重要な対策であると言えます。

②満足度

「不満」との回答は、(2) 定住促進対策が 16.7% で最も高くなっており、次いで、(3) 空き家・空き地対策が 15.8%、(1) 高齢化対策が 14.0%の順で続いています。「不満」は(7) 水害や土砂災害対策を除き、各項目とも $12\sim17\%$ となっており大きな差異はみられません。

「不満」と「どちらかと言えば不満」を合わせた『不満な対策』では、(2)定住促進対策が39.1%で最も高くなっており、次いで、(3)空き家・空き地対策が38.4%、(1)高齢化対策が34.0%の順で続き、「不満」と同様の傾向を示しています。また、(4)買い物のしやすさでは、『不満な対策』が32.5%となっているものの、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足できる対策』が30.4%となっており、全体では満足と不満に大きな差異がみられません。





			重要度([回答者数)					満足度([回答者数)		
	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではな い	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答
(1)高齢化対策	527	191	53	2	4	59	14	83	372	167	117	83
(2)定住促進対策	369	221	141	9	6	90	7	28	358	187	140	116
(3)空き家・空き地対策	291	267	178	16	8	76	4	15	383	189	132	113
(4)買い物のしやすさ	360	255	116	19	5	81	48	206	209	156	116	101
(5)子育てのしやすさ	418	164	150	2	4	98	16	81	372	131	109	127
(6)遊休農地や山林の維持管理	248	259	221	16	7	85	8	28	427	160	108	105
(7)水害や土砂災害対策	344	242	144	16	4	86	10	88		108	76	108
(8)災害時の避難場所・避難路	368	231	126	17	8	86	14	75	409	128	102	108
			重要度	(比率)			満足度(比率)					
	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答
(1)高齢化対策	63.0%	22.8%	6.3%	0.2%	0.5%	7.1%	1.7%	9.9%	44.5%	20.0%	14.0%	9.9%
(2)定住促進対策	44.1%	26.4%	16.9%	1.1%	0.7%	10.8%	0.8%	3.3%	42.8%	22.4%	16.7%	13.9%
(3)空き家・空き地対策	34.8%	31.9%	21.3%	1.9%	1.0%	9.1%	0.5%	1.8%	45.8%	22.6%	15.8%	13.5%
(4)買い物のしやすさ	43.1%	30.5%	13.9%	2.3%	0.6%	9.7%	5.7%	24.6%	25.0%	18.7%	13.9%	12.1%
(5)子育てのしやすさ	50.0%	19.6%	17.9%	0.2%	0.5%	11.7%	1.9%	9.7%	44.5%	15.7%	13.0%	15.2%
(6)遊休農地や山林の維持管理	29.7%	31.0%	26.4%	1.9%	0.8%	10.2%	1.0%	3.3%	51.1%	19.1%	12.9%	12.6%
(7)水害や土砂災害対策	41.1%	28.9%	17.2%	1.9%	0.5%	10.3%	1.2%	10.5%	53.3%	12.9%	9.1%	12.9%
(8)災害時の避難場所・避難路	44.0%	27.6%	15.1%	2.0%	1.0%	10.3%	1.7%	9.0%	48.9%	15.3%	12.2%	12.9%

(2)加重平均による評価

加重平均値とは、選択肢に重みをつけて平均を求めるものです。

n 個の数値 x_1, x_2, \dots, x_n のそれぞれに対するウェイトが w_1, w_2, \dots, w_n であるときの加重平均 m は、次の計算式で求められます。

$$m = \frac{w_1 x_1 + w_2 x_2 + \dots + w_n x_n}{w_1 + w_2 + \dots + w_n}$$

重要度(回答者数)

どちらかと どちらとも言 きばままで 重要ではな

加重平均の算出は、選択肢「重要」・「満足」、「どちらかと言えば重要」・「どちらかと言えば満足」、「どちらとも言えない」、「どちらかと言えば重要ではない」・「どちらかと言えば不満」、「重要ではない」・「不満」に、それぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて平均値を求めます。値が大きいほど、重要度、満足度が高いこととなります。

選技	評価点	
重要度	満足度	
重要	満足	X 2
どちらかと言えば重要	どちらかと言えば満足	X 1
どちらとす	も言えない	X0
どちらかと言えば重要ではない	どちらかと言えば不満	X-1
重要ではない	不満	X-2

満足度(回答者数)

どちらかと どちらとも言 どちらかと

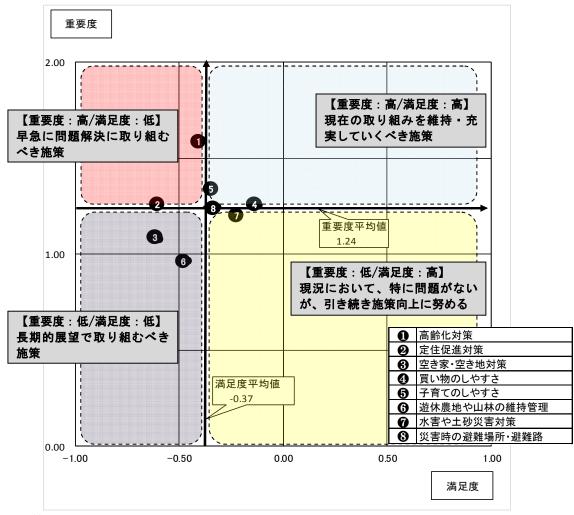
	重要	言えば重要	えない	えは重要で はない	い	計	満足	言えば満足	えない	言えば不満	个 満	計
	(A1)	(A2)	(A3)	(A4)	(A5)	(A6)	(a1)	(a2)	(a3)	(a4)	(a5)	
(1)高齢化対策	527	191	53	2	4	777	14	83	372	167	117	753
(2)定住促進対策	369	221	141	9	6	746	7	28	358	187	140	720
(3)空き家・空き地対策	291	267	178	16	8	760	4	15	383	189	132	723
(4)買い物のしやすさ	360	255	116	19	5	755	48	206	209	156	116	735
(5)子育てのしやすさ	418	164	150	2	4	738	16	81	372	131	109	709
(6)遊休農地や山林の維持管理	248	259	221	16	7	751	8	28	427	160	108	731
(7)水害や土砂災害対策	344	242	144	16	4	750	10	88	446	108	76	728
(8)災害時の避難場所・避難路	368	231	126	17	8	750	14	75	409	128	102	728
	ψ	\downarrow	\downarrow	\downarrow			. ↓	₩	₩	₩	\downarrow	
評価点(B1~5)	2	1	0	-1	-2		2	1	0	-1	-2	
	(B1)	(B2)	(B3)	(B4)	(B5)		(b1)	(b2)	(b3)	(b4)	(b5)	
		\downarrow	\downarrow	↓			₩	↓	₩	↓	↓	
İ			重要度()	加重平均)					満足度(カ	加重平均)		
	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	加重平均	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	加重平均
	C1=A1*B1	C2=A2*B2	C3=A3*B3	C4=A4*B4	C5=A5*B5	ΣC1~5 /A6	c1=a1*b1	c2=a2*b2	c3=a3*b3	c4=a4*b4	c5=a5*b5	Σc1~5 /a6
(1)高齢化対策	1,054	191	0	-2	-8	1.59	28	83	0	-167	-234	-0.39
(2)定住促進対策	738	221	0	-9	-12	1.26	14	28	0	-187	-280	-0.59
(3)空き家・空き地対策	582	267	0	-16	-16	1.08	8	15	0	-189	-264	-0.59
(4)買い物のしやすさ	720	255	0	-19	-10	1.25	96	206	0	-156	-232	-0.12
(5)子育てのしやすさ	836	164	0			1.34	32	81	0	-131	-218	-0.33
(6)遊休農地や山林の維持管理	496	259	0	-16	-14	0.97	16	28	0	-160	-216	-0.45
(7)水害や土砂災害対策	688	242	0	-16	-8	1.21	20	88	0	-108	-152	-0.21
(8)災害時の避難場所・避難路	736	231	0	-17	-16	1.25	28	75	0	-128	-204	-0.31

①重要度

加重平均でも集計値と同様、(1) 高齢化対策が 1.59 で最も高く、他の対策と比較しても最重要な対策であると言えます。次いで、(5) 子育てのしやすさが 1.34、(2) 定住促進対策が 1.26の順で続いています。(3) 空き家・空き地対策と(6) 遊休農地や山林の維持管理を除く各項目で 1.2 を超えています。

②満足度

加重平均では、(2)定住促進対策と(3)空き家・空き地対策がともに-0.59 で最も低く、対策への不満が高くなっています。次いで、低い順に(6)遊休農地や山林の維持管理が-0.45、(1) 高齢化対策が-0.39、(5)子育てのしやすさが-0.33 となっており、いずれの項目を加重平均が0を下回り不満が高くなっています。その中で、(4)買い物のしやすさでは-0.12 で最も高く、-0.2を上回る唯一の項目となっています。



(3) 対策への評価(重要度・満足度)のまとめ

- ○重要度の最も高い対策として「高齢化対策」が挙げられます。少子高齢化の進行を背景に、 本町全体において早急かつ重点的な対策が望まれていると言えます。
- ○満足度の低い対策として「定住促進対策」、「空き家・空き地対策」が挙げられています。特に、「定住促進対策」は、重要度の高い対策でもあり、本町全体において、人口減少を食い止めるために改善が必要な対策であると言えます。
- ○一方、「空き家・空き地対策」は、重要度が他の対策と比較して低くなっており、問題点として認識されているものの、本町全体的には早急な対策は望まれていないものと言えます。また、「遊休農地や山林の維持管理」についても、「空き家・空き地対策」と同様の傾向にあります。
- ○「買い物のしやすさ」では、満足度の評価が分かれており、回答者のお住い至近に商業施設の立地の有無が満足度評価に影響しているものと考えられます。しかし、重要度の高い対策の一つとしても挙げられていることから、既存商業地や沿道サービス施設、観光商業などの活性化・本町の賑わいづくりへの対策が望まれているものと考えられます。
- ○「子育てのしやすさ」についても、重要度の高い対策として挙げられています。未来を担う 子ども達を安心して育てる対策が本町全体で望まれています。
- ○「災害時の避難場所・避難路」「水害や土砂災害対策」の防災への対策は、重要度、満足度 ともに概ね中~下位に位置しており、本町全体においては大きな問題点にはなっていない対 策であると考えられます。

1-2-4 お住いの地域の特徴:問4

(1) 単純集計

問4 お住まいの地域で、「自慢できる内容」についてお聞かせください。お住いの地域の自慢できる内容(自然・産業・働き方・活動など)は、どのような特徴を持っていると思うか、イメージに近いものをお答えください。(該当する番号を2つまで選んで○)

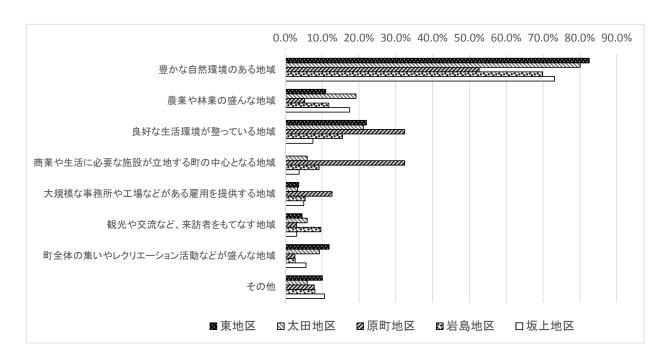
「豊かな自然環境のある地域」は、各地区で最も高くなっています。「東地区」は 82.6%で最も高くなっており、次いで、「太田地区」が 80.1%、「坂上地区」が 73.1%、岩島地区が 69.9% の順で高くなっています。

「農業や林業の盛んな地域」は、「太田地区」が 19.2%、「坂上地区」が 17.5%の順で高くなっており、「原町地区」除く地区で1割を超えています。

「良好な生活環境が整っている地域」は、「坂上地区」を除く各地区で2番めに高く、「原町地区」が32.5%、「東地区」が22.0%、「太田地区」が21.2%の順で高くなっています。

「商業や生活に必要な施設が立地する町の中心となる地域」「大規模な事務所や工場などがある雇用を提供する地域」の商工業に関しては、「原町地区」で最も高くそれぞれ 32.5%、12.7% となっています。その他の地区では、いずれも1割未満となっています。

「観光や交流など、来訪者をもてなす地域」では「岩島地区」が 9.7%、「町全体の集いやレクリエーション活動などが盛んな地域」では「東地区」が 11.9%と最も高くなっています。



182 LT 0+			 回答数		
選択肢	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
豊かな自然環境のある地域	90	121	120	130	117
農業や林業の盛んな地域	12	29	12	22	28
良好な生活環境が整っている地域	24	32	74	29	12
商業や生活に必要な施設が立地する町の中心となる地域	0	9	74	17	6
大規模な事務所や工場などがある雇用を提供する地域	4	5	29	10	8
観光や交流など、来訪者をもてなす地域	5	9	7	18	5
町全体の集いやレクリエーション活動などが盛んな地域	13	14	6	5	9
その他	11	9	18	15	17
n	109	151	228	186	160
選択肢			上率 上率		
运 //iiX	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
豊かな自然環境のある地域	82.6%	80.1%	52.6%	69.9%	73.1%
農業や林業の盛んな地域	11.0%	19.2%	5.3%	11.8%	17.5%
良好な生活環境が整っている地域	22.0%	21.2%	32.5%	15.6%	7.5%
商業や生活に必要な施設が立地する町の中心となる地域	0.0%	6.0%	32.5%	9.1%	3.8%
大規模な事務所や工場などがある雇用を提供する地域	3.7%	3.3%	12.7%	5.4%	5.0%
観光や交流など、来訪者をもてなす地域	4.6%	6.0%	3.1%	9.7%	3.1%
町全体の集いやレクリエーション活動などが盛んな地域	11.9%	9.3%	2.6%	2.7%	5.6%
その他	10.1%	6.0%	7.9%	8.1%	10.6%

(2)地域の特徴(自慢)のまとめ

- ○「豊かな自然環境」は全町的に自慢できるものとして挙げられており、地区のみならず本町 の特徴であると言えます。
- ○都市計画区域及び用途地域が地区の一部に指定されている「原町地区」では、「良好な生活環境」「商業や生活に必要な施設が立地する町の中心」「大規模な事務所や工場などがある雇用」といった住・商・工の都市的土地利用に関することが自慢できるものとして挙げられています。本町の都市活動の中心となる地区の特徴がみられます。
- ○「坂上地区」では、「豊かな自然環境」「農業や林業」が挙げられており、自然的な土地利用 が特徴の地区と言えます。
- ○「東地区」「太田地区」「岩島地区」では、「豊かな自然環境」「農業や林業」の地域であると ともに、「良好な生活環境」も比較的高くなっています。自然的な土地利用とともに、共存 する集落地の居住環境の良さが特徴と言えます。
- ○「東地区」「岩島地区」では、「来訪者をもてなす」「町全体の集いやレクリエーション活動」が他地区に比べて高くなっており、観光や町内外の交流を促進する地区の特徴がみられます。

1-2-5 本町の将来像:問5

問5 概ね 20 年後の東吾妻町の姿についてお聞かせ下さい。将来、町はどのようなまちであってほしいと思うのか、お考えに近いものをお答えください。(該当する番号を3つまで選んで

〇)

本町の概ね 20 年後の姿については、「良好な生活環境が整ったまち」が 39.1%で最も高くなっています。次いで、「必要な医療が身近に受けられる健康なまち」が 36.4%、「高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち」が 34.9%、「安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち」が 33.6%の順で3割を超えており、医療・福祉・子育て支援の分野の充実した将来像が望まれています。

「農業や林業を維持していく農林業のまち」「地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち」「地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち」「山林の緑や農地・水辺の風景、美しい集落・街並みをつくる景観のまち」などの自然や農林業、観光などの地域資源を活かした町の将来像を望む意見はいずれも1割未満となっています。

問5.20年後の東吾妻町の姿 総数=836 (複数回答) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 良好な生活環境が整ったまち 39. 1 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 36.4 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実し 34.9 たまち 安心して子どもを産み、育てられる子育ての 33.6 まち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 23.9 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 17.3 地域住民相互が助け合って暮らせるまち 16.5 商業が盛んで買い物が便利なまち 12.0 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊か 10.2 なまち まちづくりを住民と行政が協働でつくるまち 9.1 山林の緑や農地・水辺の風景、美しい集落・ 7.4 街並みをつくる景観のまち 防災・減災対策を進め、災害に強い安全・安 6.5 心なまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 6.1 地域の資源や特性を活用した観光・交流のま 5.9 to 省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに 4.4 取り組む自然環境にやさしいまち 地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち 3.5 2.9 その他

選択肢	回答数	比率
良好な生活環境が整ったまち	327	39.1
商業が盛んで買い物が便利なまち	100	12.0
工場や事業所を誘致した働き場のあるまち	200	23.9
農業や林業を維持していく農林業のまち	51	6.1
地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち	49	5.9
水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち	85	10.2
道路や公共交通が充実した交通の便利なまち	145	17.3
高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち	292	34.9
必要な医療が身近に受けられる健康なまち	304	36.4
安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち	281	33.6
地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち	29	3.5
省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに取り組む自然環境にやさしいまち	37	4.4
防災・減災対策を進め、災害に強い安全・安心なまち	54	6.5
地域住民相互が助け合って暮らせるまち	138	16.5
山林の緑や農地・水辺の風景、美しい集落・街並みをつくる景観のまち	62	7.4
まちづくりを住民と行政が協働でつくるまち	76	9.1
その他	24	2.9

n= 836

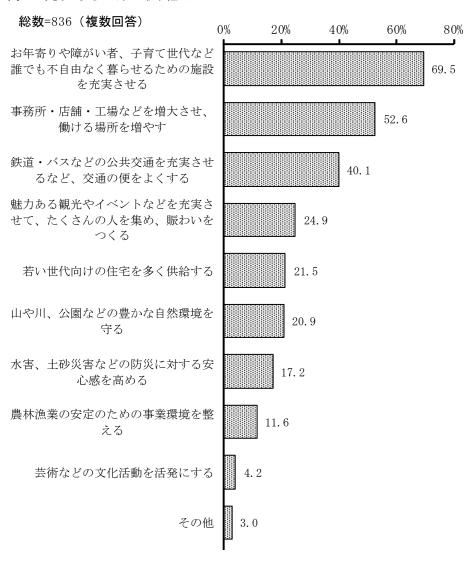
1-2-6 今後のまちづくりの取り組み:問6

問 6. 今後のまちづくりの取り組みについてお聞かせください。将来、今よりも暮らしやすい東 吾妻町をつくるためには何が必要だと考えますか。あなたのお考えに近いものをお答えくださ い。(該当する番号を3つまで選んで○)

今後のまちづくりの取り組みについては、「お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由なく暮らせるための施設を充実させる」が 69.5%で最も高くなっています。次いで、「事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす」が 52.6%、「鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする」が 40.1%の順で続いています。

将来像で望まれている医療・福祉・子育て支援の分野への取り組みのほか、雇用促進、公共交通の利便性向上への取り組みが求められています。

問6. 今後のまちづくりの取り組みについて



選択肢	回答数	比率
山や川、公園などの豊かな自然環境を守る	175	20.9
お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由なく暮らせるための施 設を充実させる	581	69.5
若い世代向けの住宅を多く供給する	180	21.5
事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす	440	52.6
芸術などの文化活動を活発にする	35	4.2
魅力ある観光やイベントなどを充実させて、たくさんの人を集め、賑わいをつくる	208	24.9
農林漁業の安定のための事業環境を整える	97	11.6
鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする	335	40.1
水害、土砂災害などの防災に対する安心感を高める	144	17.2
その他	25	3.0

n= 836

1-3. クロス集計・分析

1-3-1 地区別

(1) お住いの地域の現状評価:問3

1) 東地区

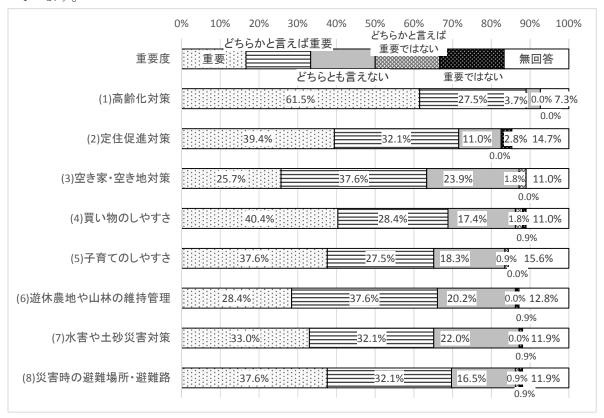
①重要度

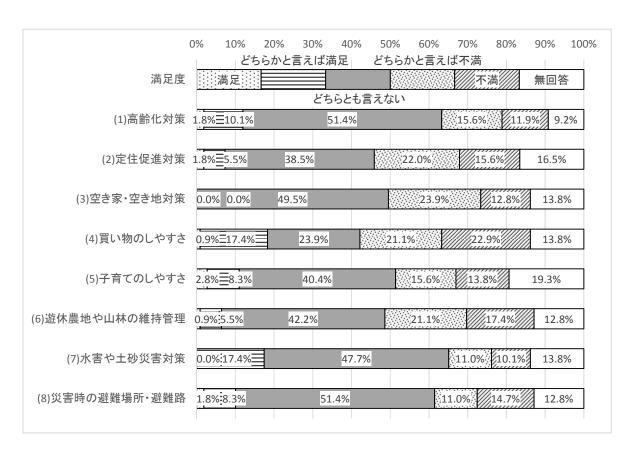
東地区の重要度では、「重要」との回答は、(1)高齢化対策が 61.5%で最も高く、次いで、(4)買い物のしやすさが 40.4%、(2)定住促進対策が 39.4%、(5)子育てのしやすさが 37.6%で続いています。「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要な対策』では、(1)高齢化対策が 89.0%で最も高く、次いで、(2)定住促進対策が 71.6%、(8)災害時の避難場所・避難路が 69.7%の順で続いています。また、全ての対策において『重要な対策』が6割を超えています。

②満足度

東地区の満足度では、「不満」との回答は、(4)買い物のしやすさが 22.9%で最も高く、2割を超えています。次いで、(6)遊休農地や山林の維持管理が 17.4%、(2)定住促進対策が 15.6%で続き、また、他の項目も1割を超えており、大きな差異はみられません。

「不満」と「どちらかと言えば不満」を合わせた『不満な対策』では、(4)買い物のしやすさが 44.0%で最も高くなっており、次いで、(6)遊休農地や山林の維持管理が 38.5%、(2)定住促進対策が 37.6%、(3)空き家・空き地対策が 36.7%で続き、「不満」と同様の傾向を示しています。一方で、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足できる対策』では、(4)買い物のしやすさが 18.3%で最も高くなっており、地区内において満足度の評価が分かれています。





			重要度([回答者数)				満足度(回答者数)						
東地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	無回答	満足	どちらかと 言えば満足		どちらかと 言えば不満	不満	無回答		
(1)高齢化対策	67	30	4	0	0	8	2	11	56	17	13	10		
(2)定住促進対策	43	35	12	0	3	16	2	6	42	24	17	18		
(3)空き家・空き地対策	28	41	26	2	0	12	0	0	54	26	14	15		
(4)買い物のしやすさ	44	31	19	2	1	12	1	19	26	23	25	15		
(5)子育てのしやすさ	41	30	20	1	0	17	3	9	44	17	15	21		
(6)遊休農地や山林の維持管理	31	41	22	0	1	14	1	6	46	23	19	14		
(7)水害や土砂災害対策	36	35	24	0	1	13	0	19	52	12	11	15		
(8)災害時の避難場所・避難路	41	35	18	1	1	13	2	9	56	12	16	14		

			重要度	(比率)					満足度	(比率)		
東地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答
(1)高齢化対策	61.5%	27.5%	3.7%	0.0%	0.0%	7.3%	1.8%	10.1%	51.4%	15.6%	11.9%	9.2%
(2)定住促進対策	39.4%	32.1%	11.0%	0.0%	2.8%	14.7%	1.8%	5.5%	38.5%	22.0%	15.6%	16.5%
(3)空き家・空き地対策	25.7%	37.6%	23.9%	1.8%	0.0%	11.0%	0.0%	0.0%	49.5%	23.9%	12.8%	13.8%
(4)買い物のしやすさ	40.4%	28.4%	17.4%	1.8%	0.9%	11.0%	0.9%	17.4%	23.9%	21.1%	22.9%	13.8%
(5)子育てのしやすさ	37.6%	27.5%	18.3%	0.9%	0.0%	15.6%	2.8%	8.3%	40.4%	15.6%	13.8%	19.3%
(6)遊休農地や山林の維持管理	28.4%	37.6%	20.2%	0.0%	0.9%	12.8%	0.9%	5.5%	42.2%	21.1%	17.4%	12.8%
(7)水害や土砂災害対策	33.0%	32.1%	22.0%	0.0%	0.9%	11.9%	0.0%	17.4%	47.7%	11.0%	10.1%	13.8%
(8)災害時の避難場所・避難路	37.6%	32.1%	16.5%	0.9%	0.9%	11.9%	1.8%	8.3%	51.4%	11.0%	14.7%	12.8%

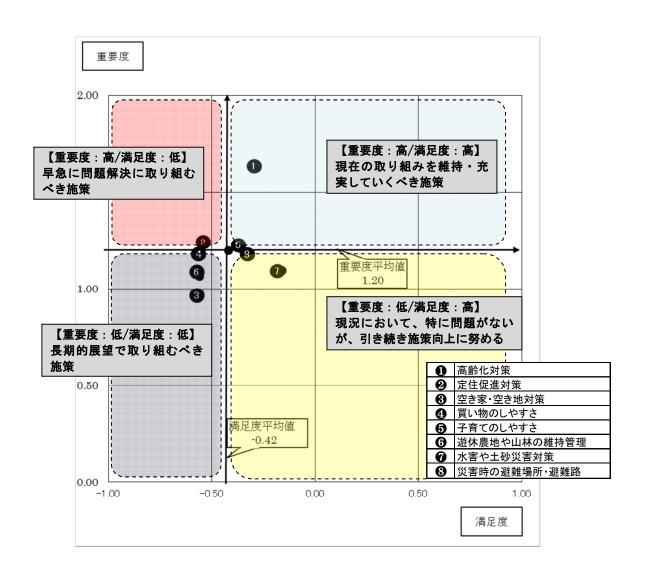
③加重平均

重要度の加重平均でも、(1)高齢化対策が 1.62 で最も高く、他の対策と比較しても最重要な対策であると言えます。次いで、(2)定住促進対策が 1.24、(5)子育てのしやすさが 1.21 の順で続いています。(3)空き家・空き地対策を除く各施策で 1.0 を超えています。

満足度の加重平均では、(3)空き家・空き地対策が-0.57 で最も低く、対策への不満が高くなっています。次いで、低い順に(6)遊休農地や山林の維持管理が-0.56、(4)買い物のしやすさが-0.55、(2)定住促進対策-0.53 となっており、いずれも加重平均-0.5 を下回っています。一方、「重要度」の高かった(1)高齢化対策は-0.28 で、(7)水害や土砂災害対策の-0.16 に次いで加重平均が高くなっています。

			重要度([回答者数)					満足度(回	回答者数)		
東地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	計	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	計
	(A1)	(A2)	(A3)	(A4)	(A5)	(A6)	(a1)	(a2)	(a3)	(a4)	(a5)	
(1)高齢化対策	67	30	4	0	0	101	2	11	56	17	13	99
(2)定住促進対策	43	35	12	0	3	93	2	6	42		17	91
(3)空き家・空き地対策	28	41	26	2	0	97	0	0	54	26	14	94
(4)買い物のしやすさ	44	31	19	2	1	97	1	19	26	23	25	94
(5)子育てのしやすさ	41	30	20	1	0	92	3	9	44	17	15	88
(6)遊休農地や山林の維持管理	31	41	22	0	1	95	1	6	46	23	19	95
(7)水害や土砂災害対策	36	35	24	0	1	96	0	19	52	12	11	94
(8)災害時の避難場所・避難路	41	35	18	1	1	96	2	9	56	12	16	95
	↓	₩	↓	₩	ψ	•						-
評価点(B1~5)	2	1	0	-1	-2		2	1	0	-1	-2	
	(B1)	(B2)	(B3)	(B4)	(B5)		(b1)	(b2)	(b3)	(b4)	(b5)	
	1	11	1	4			1	11	JL.	11	11	

	1	₩		₩.	₩				₩.		₩.	
			重要度()	11重平均)					満足度(た	11重平均)		
東地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	加重平均	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	加重平均
	C1=A1*B1	C2=A2*B2	C3=A3*B3	C4=A4*B4	C5=A5*B5	ΣC1~5 /A6	c1=a1*b1	c2=a2*b2	c3=a3*b3	c4=a4*b4	c5=a5*b5	Σc1~5 /a6
(1)高齡化対策	134	30	0	0	0	1.62	4	11	0	-17	-26	-0.28
(2)定住促進対策	86	35	0	0	-6	1.24	4	6	0	-24	-34	-0.53
(3)空き家・空き地対策	56	41	0	-2	0	0.98	0	0	0	-26	-28	-0.57
(4)買い物のしやすさ	88	31	0	-2	-2	1.19	2	19	0	-23	-50	-0.55
(5)子育てのしやすさ	82	30	0	-1	0	1.21	6	9	0	-17	-30	-0.36
(6)遊休農地や山林の維持管理	62	41	0	0	-2	1.06	2	6	0	-23	-38	-0.56
(7)水害や土砂災害対策	72	35	0	0	-2	1.09	0	19	0	-12	-22	-0.16
(8)災害時の避難場所・避難路	82	35	0	-1	-2	1.19	4	9	0	-12	-32	-0.33



2) 太田地区

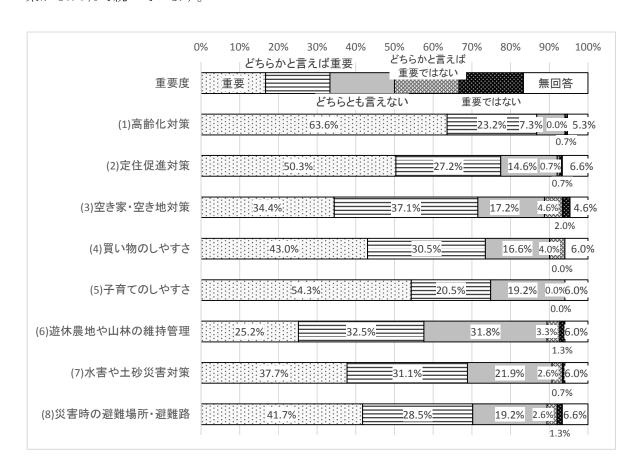
①重要度

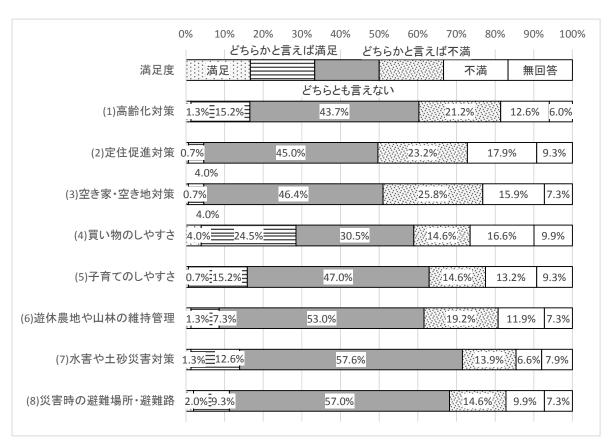
太田地区の重要度では、「重要」との回答は、(1)高齢化対策が 63.6%で最も高く、次いで、(5)子育てのしやすさが 54.3%、(2)定住促進対策が 50.3%で続き、それぞれ過半数となっていています。「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要な対策』では、(1)高齢化対策が 86.8%で最も高く、次いで、(2)定住促進対策が 77.5%、(5)子育てのしやすさが 74.8%の順で続いています。また、(6)遊休農地や山林の維持管理と(7)水害や土砂災害対策を除いた対策で『重要な対策』が 7割を超えています。

②満足度

太田地区の満足度では、「不満」との回答は、(2)定住促進対策が 17.9%で最も高く、次いで、(4)買い物のしやすさが 16.6%、(3)空き家・空き地対策が 15.9%で続いています。

「不満」と「どちらかと言えば不満」を合わせた『不満な対策』では、(3)空き家・空き地対策が 41.7%で最も高くなっており、次いで、(2)定住促進対策が 41.1%、(1)高齢化対策が 33.8%で続いています。一方で、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足できる対策』では、(4)買い物のしやすさが 28.5%で最も高くなっており、次いで、(1)高齢化対策が 16.6%で続いています。





			重要度([回答者数)			満足度(回答者数)							
太田地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答		
(1)高齢化対策	96	35	11	0	1	8	2	23	66	32	19	9		
(2)定住促進対策	76	41	22	1	1	10	1	6	68	35	27	14		
(3)空き家・空き地対策	52	56	26	7	3	7	1	6	70	39	24	11		
(4)買い物のしやすさ	65	46	25	6	0	9	6	37	46	22	25	15		
(5)子育てのしやすさ	82	31	29	0	0	9	1	23	71	22	20	14		
(6)遊休農地や山林の維持管理	38	49	48	5	2	9	2	11	80	29	18	11		
(7)水害や土砂災害対策	57	47	33	4	1	9	2	19	87	21	10	12		
(8)災害時の避難場所・避難路	63	43	29	4	2	10	3	14	86	22	15	11		

			重要度	(比率)					満足度	(比率)		
太田地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答
(1)高齢化対策	63.6%	23.2%	7.3%	0.0%	0.7%	5.3%	1.3%	15.2%	43.7%	21.2%	12.6%	6.0%
(2)定住促進対策	50.3%	27.2%	14.6%	0.7%	0.7%	6.6%	0.7%	4.0%	45.0%	23.2%	17.9%	9.3%
(3)空き家・空き地対策	34.4%	37.1%	17.2%	4.6%	2.0%	4.6%	0.7%	4.0%	46.4%	25.8%	15.9%	7.3%
(4)買い物のしやすさ	43.0%	30.5%	16.6%	4.0%	0.0%	6.0%	4.0%	24.5%	30.5%	14.6%	16.6%	9.9%
(5)子育てのしやすさ	54.3%	20.5%	19.2%	0.0%	0.0%	6.0%	0.7%	15.2%	47.0%	14.6%	13.2%	9.3%
(6)遊休農地や山林の維持管理	25.2%	32.5%	31.8%	3.3%	1.3%	6.0%	1.3%	7.3%	53.0%	19.2%	11.9%	7.3%
(7)水害や土砂災害対策	37.7%	31.1%	21.9%	2.6%	0.7%	6.0%	1.3%	12.6%	57.6%	13.9%	6.6%	7.9%
(8)災害時の避難場所・避難路	41.7%	28.5%	19.2%	2.6%	1.3%	6.6%	2.0%	9.3%	57.0%	14.6%	9.9%	7.3%

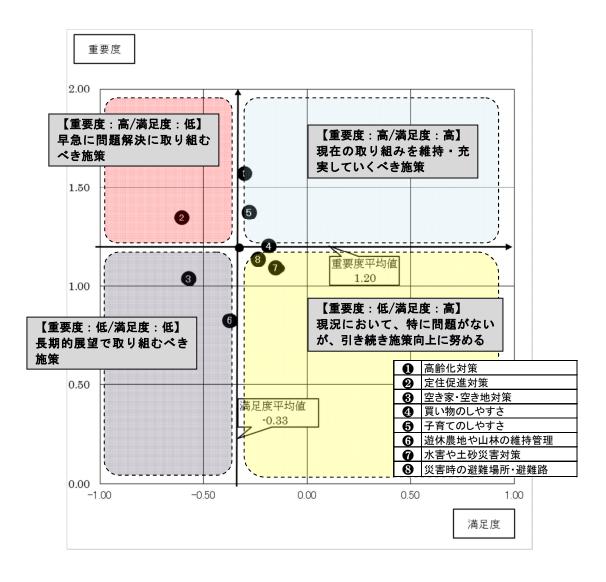
③加重平均

重要度の加重平均でも、(1)高齢化対策が 1.57 で最も高く、重要な対策であると言えます。 次いで、(5)子育てのしやすさが 1.37、(2)定住促進対策が 1.35 の順で続いています。(6)遊休農地や山林の維持管理を除く各施策で 1.0 を超えています。

満足度の加重平均は、(2)定住促進対策が-0.59 で最も低く、次いで、(3)空き家・空き地対策が-0.56 で続いており、いずれも-0.5 を下回り対策への不満が高くなっています。(4)買い物のしやすさ、(7)水害や土砂災害対策ではやや不満が低くなっています。

			重要度([回答者数)					満足度([回答者数)		
太田地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではな	計	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	計
	(A1)	(A2)	(A3)	(A4)	(A5)	(A6)	(a1)	(a2)	(a3)	(a4)	(a5)	
(1)高齢化対策	96	35	11	0	1	143	2	23	66	32	19	142
(2)定住促進対策	76	41	22	1	1	141	1	6	68	35	27	137
(3)空き家・空き地対策	52	56	26	7	3	144	1	6	70	39	24	140
(4)買い物のしやすさ	65	46	25	6	0	142	6	37	46	22	25	136
(5)子育てのしやすさ	82	31	29	0	0	142	1	23	71	22	20	137
(6)遊休農地や山林の維持管理	38	49	48	5	2	142	2	11	80	29	18	140
(7)水害や土砂災害対策	57	47	33	4	1	142	2	19	87	21	10	139
(8)災害時の避難場所・避難路	63	43	29	4	2	141	3	14	86	22	15	140
	↓	↓	↓	↓	↓	•					₩	
評価点(B1~5)	2	1	0	-1	-2		2	1	0	-1	-2	
	(B1)	(B2)	(B3)	(B4)	(B5)		(b1)	(b2)	(b3)	(b4)	(b5)	

	1	1	1	₩	₩		1	1	₩.	1	₩	
			重要度(力	n重平均)					満足度(た	11重平均)		
太田地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	加重平均	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	加重平均
	C1=A1*B1	C2=A2*B2	C3=A3*B3	C4=A4*B4	C5=A5*B5	ΣC1~5 /A6	c1=a1*b1	c2=a2*b2	c3=a3*b3	c4=a4*b4	c5=a5*b5	Σc1~5 /a6
(1)高齡化対策	192	35	0	0	-2	1.57	4	23	0	-32	-38	-0.30
(2)定住促進対策	152	41	0	-1	-2	1.35	2	6	0	-35	-54	-0.59
(3)空き家・空き地対策	104	56	0	-7		1.02	2	6	0	-39	-48	-0.56
(4)買い物のしやすさ	130	46	0	-6	0	1.20	12	37	0	-22	-50	-0.17
(5)子育てのしやすさ	164	31	0	0	0	1.37	2	23	0	-22	-40	-0.27
(6)遊休農地や山林の維持管理	76	49	0	-5	-4	0.82	4	11	0	-29	-36	-0.36
(7)水害や土砂災害対策	114	47	0	-4	-2	1.09	4	19	0	-21	-20	-0.13
(8)災害時の避難場所・避難路	126	43	0	-4	-4	1.14	6	14	0	-22	-30	-0.23



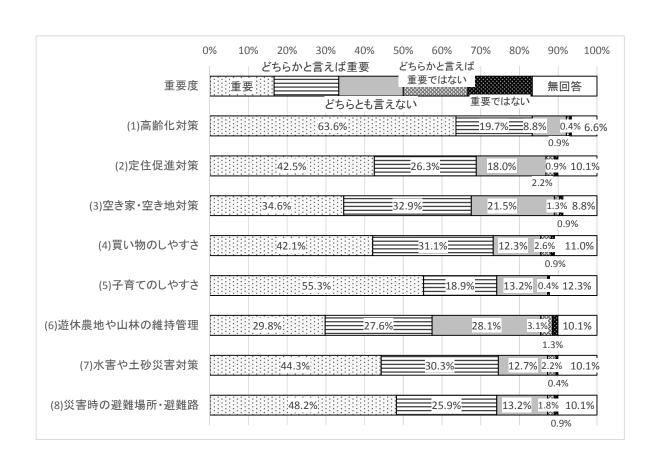
3)原町地区

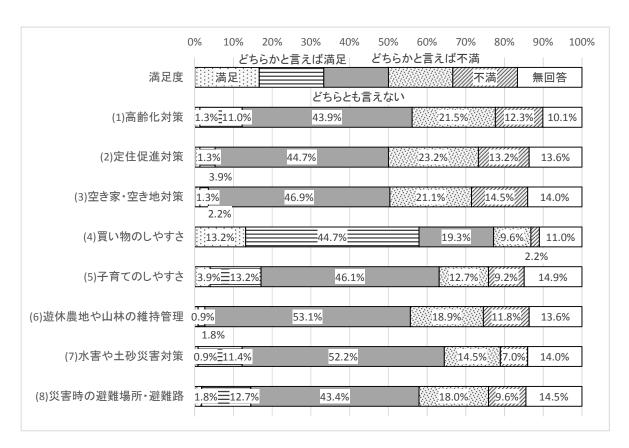
①重要度

原町地区の重要度では、「重要」との回答は、(1)高齢化対策が 63.6%で最も高く、次いで、(5)子育てのしやすさが 55.3%で続き、それぞれ過半数となっていています。「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要な対策』では、(1)高齢化対策が 83.3%で最も高く、次いで、(7)水害や土砂災害対策が 74.6%、(5)子育てのしやすさと(8)災害時の避難場所・避難路が 74.1%の順で続いています。

②満足度

原町地区の満足度では、「不満」との回答は、(3)空き家・空き地対策が 14.5%で最も高く、次いで、(2)定住促進対策が 13.2%、(1)高齢化対策が 12.3%の順にわずかな差で続いています。「不満」と「どちらかと言えば不満」を合わせた『不満な対策』では、(2)定住促進対策が 36.4%で最も高くなっており、次いで、(3)空き家・空き地対策が 35.5%、(1)高齢化対策が 33.8%で続いています。一方で、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足できる対策』では、(4)買い物のしやすさが 57.9%で最も高く、6割弱を占めています。次いで、(5)子育てのしやすさが 17.1%、(8)災害時の避難場所・避難路が 14.5%の順で続いています。





			重要度([回答者数)					満足度([可答者数)		
原町地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではな	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと言えば不満	不満	無回答
(1)高齢化対策	145	45	20	2	1	15	3	25	100	49	28	23
(2)定住促進対策	97	60	41	5	2	23	3	9	102	53	30	31
(3)空き家・空き地対策	79	75	49	3	2	20	3	5	107	48	33	32
(4)買い物のしやすさ	96	71	28	6	2	25	30	102	44	22	5	25
(5)子育てのしやすさ	126	43	30	0	1	28	9	30	105	29	21	34
(6)遊休農地や山林の維持管理	68	63	64	. 7	3	23	2	4	121	43	27	31
(7)水害や土砂災害対策	101	69	29	5	1	23	2	26	119	33	16	32
(8)災害時の避難場所・避難路	110	59	30	4	2	23	4	29	99	41	22	33

			重要度	(比率)		満足度(比率)							
原町地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではな い	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答	
(1)高齢化対策	63.6%	19.7%	8.8%	0.9%	0.4%	6.6%	1.3%	11.0%	43.9%	21.5%	12.3%	10.1%	
(2)定住促進対策	42.5%	26.3%	18.0%	2.2%	0.9%	10.1%	1.3%	3.9%	44.7%	23.2%	13.2%	13.6%	
(3)空き家・空き地対策	34.6%	32.9%	21.5%	1.3%	0.9%	8.8%	1.3%	2.2%	46.9%	21.1%	14.5%	14.0%	
(4)買い物のしやすさ	42.1%	31.1%	12.3%	2.6%	0.9%	11.0%	13.2%	44.7%	19.3%	9.6%	2.2%	11.0%	
(5)子育てのしやすさ	55.3%	18.9%	13.2%	0.0%	0.4%	12.3%	3.9%	13.2%	46.1%	12.7%	9.2%	14.9%	
(6)遊休農地や山林の維持管理	29.8%	27.6%	28.1%	3.1%	1.3%	10.1%	0.9%	1.8%	53.1%	18.9%	11.8%	13.6%	
(7)水害や土砂災害対策	44.3%	30.3%	12.7%	2.2%	0.4%	10.1%	0.9%	11.4%	52.2%	14.5%	7.0%	14.0%	
(8)災害時の避難場所・避難路	48.2%	25.9%	13.2%	1.8%	0.9%	10.1%	1.8%	12.7%	43.4%	18.0%	9.6%	14.5%	

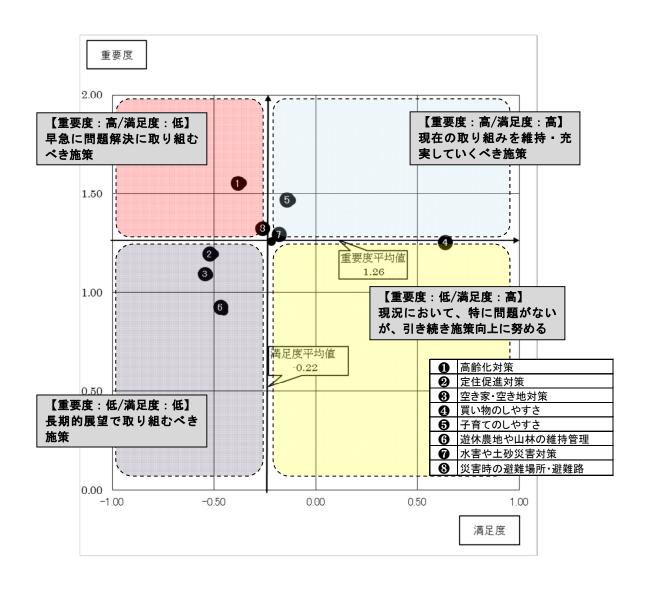
③加重平均

重要度は、加重平均でも(1)高齢化対策が 1.55 で最も高く、次いで、(5)子育てのしやすさが 1.47、(8)災害時の避難場所・避難路が 1.32 の順で続いています。(6)遊休農地や山林の維持管理は 0.91 で最も低くなっています。

満足度の加重平均は、(3)空き家・空き地対策が-0.53 で最も低く、次いで、(2)定住促進対策が-0.50 で続いており、いずれも-0.5 を下回り対策への不満が高くなっています。 一方で、(4)買い物のしやすさが 0.64 で最も高く、唯一、プラスとなる満足度の高い対策となっています。

			重要度([回答者数)		満足度(回答者数)							
原町地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではな	計	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	計	
	(A1)	(A2)	(A3)	(A4)	(A5)	(A6)	(a1)	(a2)	(a3)	(a4)	(a5)		
(1)高齢化対策	145	45	20	2	1	213	3	25	100	49	28	205	
(2)定住促進対策	97	60	41	5	2	205	3	9	102	53	30	197	
(3)空き家・空き地対策	79	75	49	3	2	208	3	5	107	48	33	196	
(4)買い物のしやすさ	96	71	28	6	2	203	30	102	44	22	5	203	
(5)子育てのしやすさ	126	43	30	0	1	200	9	30	105	29	21	194	
(6)遊休農地や山林の維持管理	68	63	64	7	3	205	2	4	121	43	27	197	
(7)水害や土砂災害対策	101	69	29	5	1	205	2	26	119	33	16	196	
(8)災害時の避難場所・避難路	110	59	30	4	2	205	4	29	99	41	22	195	
	\downarrow	↓	\downarrow	₩	₩		₩	₩	₩	₩	↓		
評価点(B1~5)	2	1	0	-1	-2		2	1	0	-1	-2		
	(B1)	(B2)	(B3)	(B4)	(B5)		(b1)	(b2)	(b3)	(b4)	(b5)		

	Ψ.	ų.	v	v	₩		₩	Ψ.	v	v	Ψ.		
			重要度()	加重平均)		満足度(加重平均)							
原町地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではな い	加重平均	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	加重平均	
	C1=A1*B1	C2=A2*B2	C3=A3*B3	C4=A4*B4	C5=A5*B5	ΣC1~5 /A6	c1=a1*b1	c2=a2*b2	c3=a3*b3	c4=a4*b4	c5=a5*b5	Σc1 ~ 5 ⁄a6	
(1)高齢化対策	290	45	0	-2	-2	1.55	6	25	0	-49	-56	-0.36	
(2)定住促進対策	194	60	0	-5	-4	1.20	6	9	0	-53	-60	-0.50	
(3)空き家・空き地対策	158	75	0	-3	-4	1.09	6	5	0	-48	-66	-0.53	
(4)買い物のしやすさ	192	71	0		-4	1.25	60	102	0	-22	-10	0.64	
(5)子育てのしやすさ	252	43	0	0	-2	1.47	18	30	0	-29	-42	-0.12	
(6)遊休農地や山林の維持管理	136	63	0	-7	-6	0.91	4	4	0	-43	-54	-0.45	
(7)水害や土砂災害対策	202	69	0	-5	-2	1.29	4	26	0	-33	-32	-0.18	
(8)災害時の避難場所・避難路	220	59	0	-4	-4	1.32	8	29	0	-41	-44	-0.25	



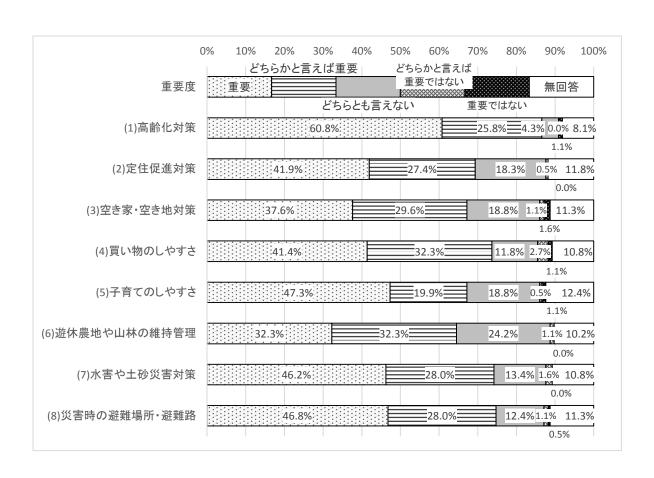
4) 岩島地区

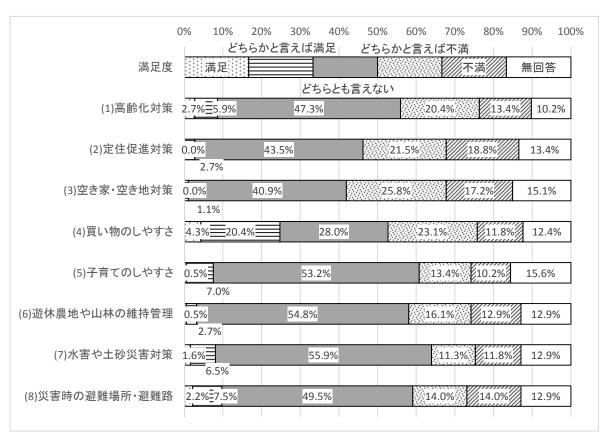
①重要度

岩島地区の重要度では、「重要」との回答は、(1)高齢化対策が 60.8%で最も高く、次いで、(5)子育てのしやすさが 47.3%、(8)災害時の避難場所・避難路が 46.8%、(7)水害や土砂災害対策 46.2%の順で続いています。「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要な対策』では、(1)高齢化対策が 86.6%で最も高く、次いで、(8)災害時の避難場所・避難路が 74.7%、(7)水害や土砂災害対策が 74.2%、(4)買い物のしやすさが 73.7%の順で続いています。

②満足度

岩島地区の満足度では、「不満」との回答は、(2)定住促進対策が 18.8%で最も高く、次いで、(3)空き家・空き地対策が 17.2%の順で続いています。また、全ての対策が1割台となっており、大きな差異はみられません。「不満」と「どちらかと言えば不満」を合わせた『不満な対策』では、(3)空き家・空き地対策が 43.0%で最も高くなっており、次いで、(2)定住促進対策が 40.3%、(4)買い物のしやすさが 34.9%で続いています。一方で、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足できる対策』では、(4)買い物のしやすさが 24.7%で突出して高くなっており、満足度の評価が分かれています。





			重要度([回答者数)		満足度(回答者数)							
岩島地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではな い	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答	
(1)高齢化対策	113	48	8	0	2	15	5	11	88	38	25	19	
(2)定住促進対策	78	51	34	1	0	22	0	5	81	40	35	25	
(3)空き家・空き地対策	70	55	35	2	3	21	0	2	76	48	32	28	
(4)買い物のしやすさ	77	60	22	5	2	20	8	38	52	43	22	23	
(5)子育てのしやすさ	88	37	35	1	2	23	1	13	99	25	19	29	
(6)遊休農地や山林の維持管理	60	60	45	2	0	19	1	5	102	30	24	24	
(7)水害や土砂災害対策	86	52	25	3	0	20	3	12	104	21	22	24	
(8)災害時の避難場所・避難路	87	52	23	2	1	21	4	14	92	26	26	24	

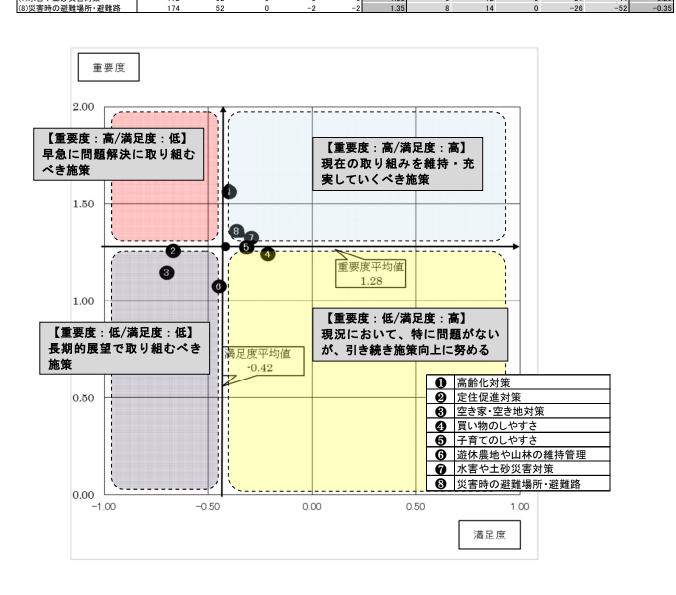
			重要度	(比率)		満足度(比率)							
岩島地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではな い	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答	
(1)高齢化対策	60.8%	25.8%	4.3%	0.0%	1.1%	8.1%	2.7%	5.9%	47.3%	20.4%	13.4%	10.2%	
(2)定住促進対策	41.9%	27.4%	18.3%	0.5%	0.0%	11.8%	0.0%	2.7%	43.5%	21.5%	18.8%	13.4%	
(3)空き家・空き地対策	37.6%	29.6%	18.8%	1.1%	1.6%	11.3%	0.0%	1.1%	40.9%	25.8%	17.2%	15.1%	
(4)買い物のしやすさ	41.4%	32.3%	11.8%	2.7%	1.1%	10.8%	4.3%	20.4%	28.0%	23.1%	11.8%	12.4%	
(5)子育てのしやすさ	47.3%	19.9%	18.8%	0.5%	1.1%	12.4%	0.5%	7.0%	53.2%	13.4%	10.2%	15.6%	
(6)遊休農地や山林の維持管理	32.3%	32.3%	24.2%	1.1%	0.0%	10.2%	0.5%	2.7%	54.8%	16.1%	12.9%	12.9%	
(7)水害や土砂災害対策	46.2%	28.0%	13.4%	1.6%	0.0%	10.8%	1.6%	6.5%	55.9%	11.3%	11.8%	12.9%	
(8)災害時の避難場所・避難路	46.8%	28.0%	12.4%	1.1%	0.5%	11.3%	2.2%	7.5%	49.5%	14.0%	14.0%	12.9%	

③加重平均

重要度の加重平均でも、(1) 高齢化対策が 1.58 で最も高く、次いで、(8) 災害時の避難場所・避難路が 1.35、(7) 水害や土砂災害対策が 1.33 の順で続いています。

満足度の加重平均は、(3)空き家・空き地対策が-0.70 で最も低く、次いで、(2)定住促進対策が-0.65 で続いており、いずれも-0.6 を下回り対策への不満が高くなっています。(4)買い物のしやすさ、(7)水害や土砂災害対策ではやや不満が低くなっています。

			重要度([回答者数)					満足度(回	回答者数)		
岩島地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	計	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	計
	(A1)	(A2)	(A3)	(A4)	(A5)	(A6)	(a1)	(a2)	(a3)	(a4)	(a5)	
(1)高齢化対策	113	48	8	0	2	171	5	11	88	38	25	167
(2)定住促進対策	78	51	34	1	0	164	0	5	81	40	35	161
(3)空き家・空き地対策	70	55	35	2	3	165	0	2	76	48	32	158
(4)買い物のしやすさ	77	60	22	5	2	166	8	38	52	43	22	163
(5)子育てのしやすさ	88	37	35	1	2	163	1	13	99	25	19	157
(6)遊休農地や山林の維持管理	60	60	45	2	0	167	1	5	102	30	24	162
(7)水害や土砂災害対策	86	52	25	3	0	166	3	12	104	21	22	162
(8)災害時の避難場所・避難路	87	52	23	2	1	165	4	14	92	26	26	162
	↓	\downarrow	↓	↓	\downarrow		↓	↓	↓	↓	\downarrow	
評価点(B1~5)	2	1	0	-1	-2		2	1	0	-1	-2	
	(B1)	(B2)	(B3)	(B4)	(B5)		(b1)	(b2)	(b3)	(b4)	(b5)	
	\downarrow	\downarrow	\downarrow		\downarrow			₩	₩		↓	
			重要度()						満足度(カ	11重平均)		
岩島地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	加重平均	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	加重平均
	C1=A1*B1	C2=A2*B2	C3=A3*B3	C4=A4*B4	C5=A5*B5	ΣC1~5 /A6	c1=a1*b1	c2=a2*b2	c3=a3*b3	c4=a4*b4	c5=a5*b5	Σc1 ~ 5 ∕a6
(1)高齢化対策	226	48	0	0		1.58	10	11	0	-38	-50	-0.40
(2)定住促進対策	156	51	0	-1	0	1.26	0	5	0	-40	-70	-0.65
(3)空き家・空き地対策	140	55	0	-2	-6	1.13	0	2	0	-48	-64	-0.70
(4)買い物のしやすさ	154	60	. 0	-5	-4	1.23	16	38	0	-43	-44	-0.20
(5)子育てのしやすさ	176	37	0	-1		1.28	2	13	0	-25	-38	-0.31
(6)遊休農地や山林の維持管理	120	60	0	-2	0	1.07	2	5	0	-30	-48	-0.44
(7)水害や土砂災害対策	172	52	0	-3	0	1.33	6	12	0	-21	-44	-0.29



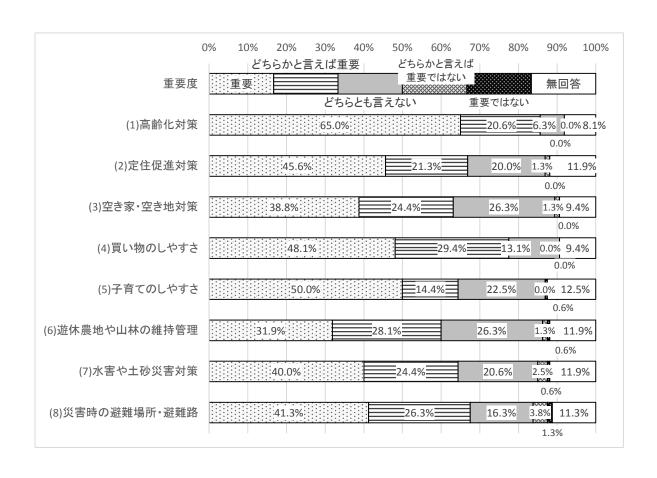
5) 坂上地区

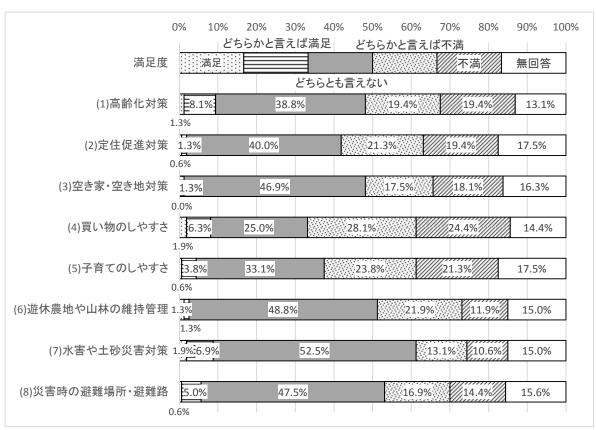
①重要度

坂上地区の重要度では、「重要」との回答は、(1)高齢化対策が 65.0%で最も高く、次いで、(5)子育てのしやすさが 50.0%、(4)買い物のしやすさが 48.1%、(2)定住促進対策が 45.6% の順で続いています。「重要」と「どちらかと言えば重要」を合わせた『重要な対策』では、(1)高齢化対策が 85.6%で最も高く、次いで、(4)買い物のしやすさが 77.5%、(8)災害時の避難場所・避難路が 67.5%の順で続いています。また、全ての対策が 6割以上となっています。

②満足度

坂上地区の満足度では、「不満」との回答は、(4)買い物のしやすさが 24.4%で最も高く、次いで、(5)子育てのしやすさが 21.3%で、2割を超えています。また、他の対策はいずれも 1割台となっています。「不満」と「どちらかと言えば不満」を合わせた『不満な対策』では、(4)買い物のしやすさが 52.5%で最も高くなっており過半数を占めています。次いで、(5)子育てのしやすさが 45.0%、(2)定住促進対策が 40.6%の順で続いています。一方で、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた『満足できる対策』では、全ての対策で1割未満となっており、満足度が低い評価となっています。





			重要度()	回答者数)			満足度(回答者数)							
坂上地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答		
(1)高齢化対策	104	33	10	0	0	13	2	13	62	31	31	21		
(2)定住促進対策	73	34	32	2	0	19	1	2	64	34	31	28		
(3)空き家・空き地対策	62	39	42	2	0	15	0	2	75	28	29	26		
(4)買い物のしやすさ	77	47	21	0	0	15	3	10	40	45	39	23		
(5)子育てのしやすさ	80	23	36	0	1	20	1	6	53	38	34	28		
(6)遊休農地や山林の維持管理	51	45	42	2	1	19	2	2	78	35	19	24		
(7)水害や土砂災害対策	64	39	33	4	1	19	3	11	84	21	17	24		
(8)災害時の避難場所・避難路	66	42	26	6	2	18	1	8	76	27	23	25		

			重要度	(比率)				満足度(比率)								
坂上地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	無回答	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	無回答				
(1)高齢化対策	65.0%	20.6%	6.3%	0.0%	0.0%	8.1%	1.3%	8.1%	38.8%	19.4%	19.4%	13.1%				
(2)定住促進対策	45.6%	21.3%	20.0%	1.3%	0.0%	11.9%	0.6%	1.3%	40.0%	21.3%	19.4%	17.5%				
(3)空き家・空き地対策	38.8%	24.4%	26.3%	1.3%	0.0%	9.4%	0.0%	1.3%	46.9%	17.5%	18.1%	16.3%				
(4)買い物のしやすさ	48.1%	29.4%	13.1%	0.0%	0.0%	9.4%	1.9%	6.3%	25.0%	28.1%	24.4%	14.4%				
(5)子育てのしやすさ	50.0%	14.4%	22.5%	0.0%	0.6%	12.5%	0.6%	3.8%	33.1%	23.8%	21.3%	17.5%				
(6)遊休農地や山林の維持管理	31.9%	28.1%	26.3%	1.3%	0.6%	11.9%	1.3%	1.3%	48.8%	21.9%	11.9%	15.0%				
(7)水害や土砂災害対策	40.0%	24.4%	20.6%	2.5%	0.6%	11.9%	1.9%	6.9%	52.5%	13.1%	10.6%	15.0%				
(8)災害時の避難場所・避難路	41.3%	26.3%	16.3%	3.8%	1.3%	11.3%	0.6%	5.0%	47.5%	16.9%	14.4%	15.6%				

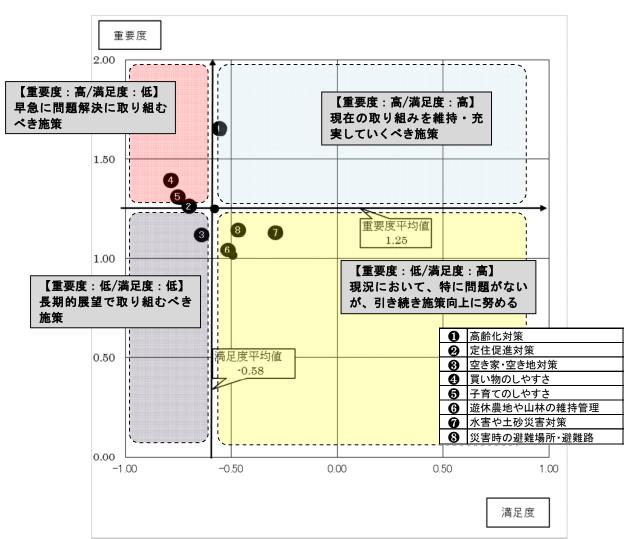
③加重平均

重要度の加重平均でも、(1) 高齢化対策が 1.64 で最も高く、次いで、(4) 買い物のしやすさが 1.39、(5) 子育てのしやすさが 1.29 の順で続いています。

満足度の加重平均は、(4)買い物のしやすさが-0.78 で最も低く、次いで、(5)子育てのしやすさが-0.74、(2)定住促進対策が-0.70 の順となっており、-0.7 を下回り対策への不満が高くなっています。

			重要度([回答者数)					満足度(回	回答者数)		
坂上地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	計	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	計
	(A1)	(A2)	(A3)	(A4)	(A5)	(A6)	(a1)	(a2)	(a3)	(a4)	(a5)	
(1)高齢化対策	104	33	10	0	0	147	2	13	62	31	31	139
(2)定住促進対策	73	34	32	2	0	141	1	2	64	34	31	132
(3)空き家・空き地対策	62	39	42	2	0	145	0	2	75	28	29	134
(4)買い物のしやすさ	77	47	21	0	0	145	3	10	40	45	39	137
(5)子育てのしやすさ	80	23	36	0	1	140	1	6	53	38	34	132
(6)遊休農地や山林の維持管理	51	45	42	2	1	141	2	2	78	35	19	136
(7)水害や土砂災害対策	64	39	33	4	1	141	3	11	84	21	17	136
(8)災害時の避難場所・避難路	66	42	26	6	2	142	1	8	76	27	23	135
	↓	↓	↓	↓			↓	₩		₩		
評価点(B1~5)	2	1	0	-1	-2		2	1	0	-1	-2	
	(B1)	(B2)	(B3)	(B4)	(B5)		(b1)	(b2)	(b3)	(b4)	(b5)	

	Ψ.	Ψ.	₩.	₩.	₩.		Ψ.	₩.	₩	₩.	Ψ.	
			重要度()	11重平均)					満足度(た	11重平均)		
坂上地区	重要	どちらかと 言えば重要	どちらとも言 えない	どちらかと言 えば重要で はない	重要ではない	加重平均	満足	どちらかと 言えば満足	どちらとも言 えない	どちらかと 言えば不満	不満	加重平均
	C1=A1*B1	C2=A2*B2	C3=A3*B3	C4=A4*B4	C5=A5*B5	ΣC1~5 /A6	c1=a1*b1	c2=a2*b2	c3=a3*b3	c4=a4*b4	c5=a5*b5	Σc1~5 /a6
(1)高齡化対策	208	33	0	0	0	1.64	4	13	0	-31	-62	-0.55
(2)定住促進対策	146	34	0		0	1.26	2	2	0	-34	-62	-0.70
(3)空き家・空き地対策	124	39	0		0	1.11	0	2	0	-28	-58	-0.63
(4)買い物のしやすさ	154	47	0	0	0	1.39	6	10	0	-45	-78	-0.78
(5)子育てのしやすさ	160	23	0	0	-2	1.29	2	6	0	-38	-68	-0.74
(6)遊休農地や山林の維持管理	102	45	0		-2	1.01	4	2	0	-35	-38	-0.49
(7)水害や土砂災害対策	128	39	0	-4	-2	1.14	6	11	0	-21	-34	-0.28
(8)災害時の避難場所・避難路	132	42	0	-6	-4	1.15	2	8	0	-27	-46	-0.47



6) 加重平均による評価の比較

①高齢化対策

- ○重要度では、各地区共通で重要度の最も高い対策として挙げられています。
- ○満足度をみると、「東地区」では満足度が第2位になっていることや、「原町地区」を除き、地区の平均値を上回っていることなどから、現状においての不満は比較的抑えられている状況が伺えます。

【地区特性のまとめ】

- ■高齢化対策は、現状での不満は抑えられていますが、今後の更なる高齢化の進行を見据えた対策の必要性は最も高く、最重要課題として取り組んでいくことが望まれています。
- ■上記の傾向は各地区共通であることから、町全体としての取り組みと地区ごとの取り 組みを合わせて進めていく必要があります。

②定住促進対策

- ○重要度では、「東地区」「太田地区」で重要度の順位が上位に挙げられています。また、 他の地区においても加重平均が 1.2 以上となっていることから、各地区共通で重要度の 高い対策と言えます。
- ○満足度をみると、「太田地区」では満足度が最下位であるのをはじめ各地区とも満足度が下位にあり、また、加重平均が-0.5以下となっていることから、現状においての不満が多い状況が伺えます。

- ■定住促進対策は、現状での不満が多く、かつ対策への重要性が高いことから、人口減少の抑制と地域の活性化促進の観点から、早急に対策強化に取り組んでいくべき課題として挙げられます。
- ■上記の傾向は各地区共通であることから、町全体としての取り組みと地区ごとの取り 組みを合わせて進めていく必要があります。

③空き家・空き地対策

- ○重要度では、各地区共通で重要度の順位が下位に挙げられています。また、加重平均で も各地区ともに 1.2 未満となっており、重要度の低い高い対策と言えます。
- ○満足度をみると、「東地区」「原町地区」「岩島地区」で満足度が最下位で、「太田地区」でも第7位であり、また、加重平均が-0.5以下となっていることから、現状においての不満が多い状況が伺えます。

【地区特性のまとめ】

- ■空き家・空き地対策は、現状での不満が多いものの対策への重要性が低くなっています。現状の問題点としては認識されているものの、その対策においては、町や地域レベルでの取り組みに期待していないものと想定されます。
- ■上記の傾向は各地区共通であることから、町全体及び地区での現状の問題点として把握します。

④買い物のしやすさ

- ○重要度では、「坂上地区」で重要度の順位が上位に挙げられ、また、加重平均でも他地 区よりも高くなっています。
- ○満足度をみると、「東地区」「坂上地区」で満足度の順位が下位にあり、また、加重平均でも-0.5 以下となっていることから、現状においての不満が多い状況が伺えます。一方で、「原町地区」「岩島地区」では満足度が最も高くなっており、特に「原町地区」の加重平均では、全対策・全地区で唯一プラスとなっています。

- ■「坂上地区」では、早急に対策強化に取り組んでいくべき課題として把握します。
- ■「東地区」では、地区の問題点として把握します。
- ■「原町地区」では、用途地域内に店舗等の集積がみられる地区であり、これらの商業 環境が買い物のしやすさに対する評価を高めているとの地区特性を把握します。

⑤子育てのしやすさ

- ○重要度では、「岩島地区」を除く各地区で、重要度の順位が上位に挙げられています。 また、加重平均でも各地区ともに 1.2 以上となっており、重要度の高い対策と言えます。
- ○満足度をみると、「原町地区」で満足度が上位にあり、加重平均でも-0.2 を上回るなど 比較的満足されている状況が伺えます。一方で、「坂上地区」では満足度が第7位で、 加重平均でも-0.7 を下回っており、現状においての不満が多い状況が伺えます。

【地区特性のまとめ】

- ■「坂上地区」では、早急に対策強化に取り組んでいくべき課題として把握します。
- ■「原町地区」では、子育てのしやすさの現状の評価を高めているとの地区特性を把握 します。
- ■重要度は各地区共通で高いことから、今後、町全体で取り組んでいくべき対策として 把握します。

⑥遊休農地や山林の維持管理

- ○重要度では、各地区ともに重要度の順位が最下位または第7位であり、また、加重平均でも各地区ともに1.0前後となっており、重要度が低い対策となっています。
- ○満足度をみると、「坂上地区」では満足度が比較的上位にあるものの、加重平均は-0.49で「東地区」に次いで低く、やや不満が高い状況が伺えます。その他の地区でも満足度は下位にあるとともに、加重平均でも-0.4前後をとなっていることから、現状においての不満がやや多い状況が伺えます。

- ■遊休農地や山林の維持管理対策は、現状での不満がやや多いものの対策への重要性が低くなっています。現状の問題点としては認識されているものの、その対策の優先度は低いものとなっており、(3)空き家・空き地対策と同様、町や地域レベルでの取り組みに期待していないものと想定されます。
- ■上記の傾向は各地区共通であることから、町全体及び地区での現状の問題点として把握します。

⑦水害や土砂災害対策

- ○重要度では、「岩島地区」は重要度の順位が上位にあります。また、加重平均では「岩島地区」と「坂上地区」が-0.3 前後で他地区と比べて比較的高くなっています。
- ○満足度をみると、「東地区」「太田地区」「坂上地区」で満足度が最も高くなっており、 「原町地区」「岩島地区」も上位にあります。

【地区特性のまとめ】

- ■水害や土砂災害対策は、各地区ともに現状では大きな問題点とされていません。
- ■「原町地区」「岩島地区」では、今後に備えた自然災害への対策が望まれています。

⑧災害時の避難場所・避難路

- ○重要度では、「原町地区」と「岩島地区」で重要度の順位が上位にあり、また、加重平均でも両地区ともに 1.3 を超えています。
- ○満足度をみると、満足度の順位は比較的上位にあるものの、加重平均では「坂上地区」で-0.4を下回り、「東地区」と「岩島地区」で-0.3を下回るなど、現状においての不満がやや多くなっています。

- ■「原町地区」「岩島地区」では、災害時の避難についての対策が望まれており、前述した自然災害への対策と合わせて、防災対策を強化する取り組みが求められています。
- ■「東地区」では、現状の問題点として把握します。

	東地	区	太田	地区	原町	地区	岩島	地区	坂上:	地区
	重要度	満足度								
(1)高齢化対策	1.62	-0.28	1.57	-0.30	1.55	-0.36	1.58	-0.40	1.64	-0.55
(2)定住促進対策	1.24	-0.53	1.35	-0.59	1.20	-0.50	1.26	-0.65	1.26	-0.70
(3)空き家・空き地対策	0.98	-0.57	1.02	-0.56	1.09	-0.53	1.13	-0.70	1.11	-0.63
(4)買い物のしやすさ	1.19	-0.55	1.20	-0.17	1.25	0.64	1.23	-0.20	1.39	-0.78
(5)子育てのしやすさ	1.21	-0.36	1.37	-0.27	1.47	-0.12	1.28	-0.31	1.29	-0.74
(6)遊休農地や山林の維持管理	1.06	-0.56	0.82	-0.36	0.91	-0.45	1.07	-0.44	1.01	-0.49
(7)水害や土砂災害対策	1.09	-0.16	1.09	-0.13	1.29	-0.18	1.33	-0.29	1.14	-0.28
(8)災害時の避難場所・避難路	1.19	-0.33	1.14	-0.23	1.32	-0.25	1.35	-0.35	1.15	-0.47
平均值	1.20	-0.42	1.20	-0.33	1.26	-0.22	1.28	-0.42	1.25	-0.58

	東地	也区	太田	地区	原町	地区	岩島	地区	坂上	.地区
	重要度	満足度								
(1)高齢化対策	1位	2位	1位	5位	1位	5位	1位	5位	1位	4位
(2)定住促進対策	2位	5位	3位	8位	6位	7位	5位	7位	4位	6位
(3)空き家・空き地対策	8位	8位	7位	7位	7位	8位	7位	8位	7位	5位
(4)買い物のしやすさ	4位	6位	4位	2位	5位	1位	6位	1位	2位	8位
(5)子育てのしやすさ	3位	4位	2位	4位	2位	2位	4位	3位	3位	7位
(6)遊休農地や山林の維持管理	7位	7位	8位	6位	8位	6位	8位	6位	8位	3位
(7)水害や土砂災害対策	6位	1位	6位	1位	4位	3位	3位	2位	6位	1位
(8)災害時の避難場所・避難路	4位	3位	5位	3位	3位	4位	2位	4位	5位	2位

(2) 本町の将来像:問5

本町の将来像(概ね 20 年後のまちの姿)について、各地区の回答の上位は、以下の4項目にまとめられます。

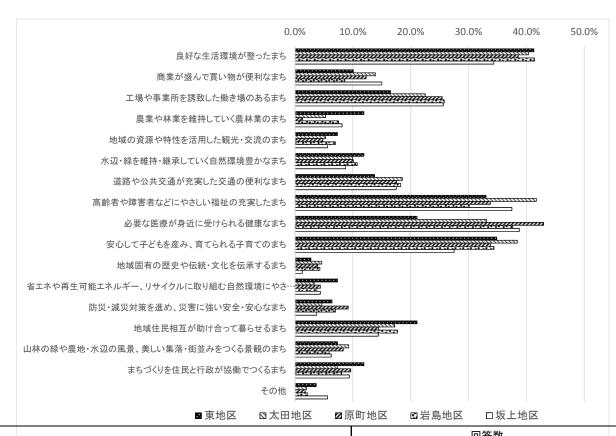
- ○良好な生活環境が整ったまち
 - ・「東地区」「岩島地区」で第1位
 - ・「太田地区」「原町地区」で第2位
 - ・「坂上地区」で第3位
- ○高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち
 - ・「太田地区」で第1位
 - ・「坂上地区」で第2位
 - ・「東地区」「原町地区」で第3位
- ○必要な医療が身近に受けられる健康なまち
 - ・「原町地区」「坂上地区」で第1位
 - ・「岩島地区」で第2位
- ○安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち
 - ・「東地区」で第2位
 - ・「太田地区」「原町地区」「岩島地区」で第3位

以上の将来像については、概ね 3 割~4 割台の回答を得ており、地区による大きな差はみられません。

その他では「工場や事業所を誘致した働き場のあるまち」は、「太田地区」「原町地区」「岩島地区」「坂上地区」で2割台となっています。

【地区特性のまとめ】

■各地区ともに、4つの将来像が望まれており、地区による違いはみられません。



選択肢	回答数					
地では	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区	
良好な生活環境が整ったまち	45	61	88	77	55	
商業が盛んで買い物が便利なまち	11	21	28	16	24	
工場や事業所を誘致した働き場のあるまち	18	34	58	48	41	
農業や林業を維持していく農林業のまち	13	8	3	14	13	
地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち	8	8	11	13	9	
水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち	13	15	23	20	14	
道路や公共交通が充実した交通の便利なまち	15	28	40	34	28	
高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち	36	63	77	56	60	
必要な医療が身近に受けられる健康なまち	23	50	98	70	62	
安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち	38	58	77	64	44	
地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち	3	7	9	8	2	
省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに取り組む自然環境にやさしいまち	8	5	10	7	7	
防災・減災対策を進め、災害に強い安全・安心なまち	7	7	21	13	6	
地域住民相互が助け合って暮らせるまち	23	26	33	33	23	
山林の緑や農地・水辺の風景、美しい集落・街並みをつくる景観のまち	8	14	19	11	10	
まちづくりを住民と行政が協働でつくるまち	13	11	22	15	15	
その他	4	3	4	4	9	
n	109	151	228	186	160	
選択肢			比率			
選択肢	東地区	太田地区	比率 原町地区	岩島地区	坂上地区	
良好な生活環境が整ったまち	東地区 41.3%	太田地区	· · · · ·	41.4%	坂上地区 34.4%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち			原町地区			
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち	41.3%	40.4%	原町地区 38.6%	41.4%	34.4%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち	41.3% 10.1%	40.4% 13.9%	原町地区 38.6% 12.3%	41.4% 8.6%	34.4% 15.0%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち	41.3% 10.1% 16.5%	40.4% 13.9% 22.5%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4%	41.4% 8.6% 25.8%	34.4% 15.0% 25.6%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1% 34.9%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1% 38.4%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0% 33.8%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6% 34.4%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8% 27.5%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち 地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1% 34.9% 2.8%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1% 38.4% 4.6%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0% 33.8% 3.9%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6% 34.4% 4.3%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8% 27.5%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち 地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち 省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに取り組む自然環境にやさしいまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1% 34.9% 2.8% 7.3%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1% 38.4% 4.6% 3.3%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0% 33.8% 4.4%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6% 34.4% 4.3%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8% 27.5% 1.3%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち 地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち 省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに取り組む自然環境にやさしいまち 防災・減災対策を進め、災害に強い安全・安心なまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1% 34.9% 2.8% 7.3% 6.4%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1% 38.4% 4.6%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0% 33.8% 44.0% 9.2%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6% 34.4% 4.3% 3.8% 7.0%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8% 27.5% 1.3% 4.4%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち 地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち 省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに取り組む自然環境にやさしいまち 防災・減災対策を進め、災害に強い安全・安心なまち 地域住民相互が助け合って暮らせるまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1% 34.9% 2.8% 7.3%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1% 38.4% 4.6% 3.3%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0% 33.8% 4.4%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6% 34.4% 4.3% 3.8% 7.0%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8% 27.5% 1.3% 4.4%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち 地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち 省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに取り組む自然環境にやさしいまち 防災・減災対策を進め、災害に強い安全・安心なまち 地域住民相互が助け合って暮らせるまち 山林の緑や農地・水辺の風景、美しい集落・街並みをつくる景観のまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1% 34.9% 2.8% 7.3% 6.4% 21.1%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1% 38.4% 4.6%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0% 33.8% 44.0% 9.2%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6% 34.4% 4.3% 3.8% 7.0%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8% 27.5% 1.3% 4.4% 3.8%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち 地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち 省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに取り組む自然環境にやさしいまち 防災・減災対策を進め、災害に強い安全・安心なまち 地域住民相互が助け合って暮らせるまち 山林の緑や農地・水辺の風景、美しい集落・街並みをつくる景観のまち まちづくりを住民と行政が協働でつくるまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1% 2.8% 7.3% 6.4% 21.1%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1% 4.6% 3.3% 4.6% 17.2%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0% 33.8% 4.4% 9.2% 14.5%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6% 34.4% 4.3% 3.8% 7.0%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8% 27.5%	
良好な生活環境が整ったまち 商業が盛んで買い物が便利なまち 工場や事業所を誘致した働き場のあるまち 農業や林業を維持していく農林業のまち 地域の資源や特性を活用した観光・交流のまち 水辺・緑を維持・継承していく自然環境豊かなまち 道路や公共交通が充実した交通の便利なまち 高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち 必要な医療が身近に受けられる健康なまち 安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち 地域固有の歴史や伝統・文化を伝承するまち 省エネや再生可能エネルギー、リサイクルに取り組む自然環境にやさしいまち 防災・減災対策を進め、災害に強い安全・安心なまち 地域住民相互が助け合って暮らせるまち 山林の緑や農地・水辺の風景、美しい集落・街並みをつくる景観のまち	41.3% 10.1% 16.5% 11.9% 7.3% 11.9% 13.8% 33.0% 21.1% 34.9% 2.8% 7.3% 6.4% 21.1%	40.4% 13.9% 22.5% 5.3% 5.3% 9.9% 18.5% 41.7% 33.1% 38.4% 4.6% 3.3% 4.6% 17.2% 9.3%	原町地区 38.6% 12.3% 25.4% 1.3% 4.8% 10.1% 17.5% 33.8% 43.0% 33.8% 9.2% 14.5% 8.3%	41.4% 8.6% 25.8% 7.5% 7.0% 10.8% 18.3% 30.1% 37.6% 34.4% 4.3% 7.0% 17.7% 5.9%	34.4% 15.0% 25.6% 8.1% 5.6% 8.8% 17.5% 37.5% 38.8% 27.5% 1.3% 4.4% 3.8% 14.4% 6.3%	

(3) 今後のまちづくりの取り組み:問6

本町の今後のまちづくりの取り組みについて、各地区ともに回答の最も多いのは、「お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由なく暮らせるための施設を充実させる」であり、「太田地区」「原町地区」「坂上地区」で7割以上、その他の地区でも6割半ばとなっています。次いで、「事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす」が多く、全ての地区が5割台で過半数となっています。また、「鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする」は、全ての地区で第3位となっており、「太田地区」「岩島地区」「坂上地区」で4割を超えています。



【地区特性のまとめ】

- ■今後のまちづくりの取り組みの取り組みについては、以下の3項目に集約され、地区による大きな差はみられません。
 - ○お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由なく暮らせるための施設を充実させる
 - ○事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす
 - ○鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする

【まちづくりのキーワード(各地区共通)】

- ・高齢者にやさしいまちづくり・
- 子育て支援

• 雇用促進

・街の活性化・賑わいづくり

• 公共交通



選択肢			回答数		
ک یا/الک	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
山や川、公園などの豊かな自然環境を守る	25	41	45	33	31
お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由な〈暮らせるための施設を充 実させる	70	108	168	122	112
若い世代向けの住宅を多く供給する	31	35	48	39	27
事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす	55	76	117	99	92
芸術などの文化活動を活発にする	3	8	14	9	1
魅力ある観光やイベントなどを充実させて、たくさんの人を集め、賑わいをつくる	32	35	55	54	31
農林漁業の安定のための事業環境を整える	14	12	22	18	31
鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする	39	62	87	79	68
水害、土砂災害などの防災に対する安心感を高める	22	24	47	35	16
その他	4	6	7	5	3
n	109	151	228	186	160
選択肢			比率		
\Z\\IX	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
山や川、公園などの豊かな自然環境を守る	22.9%	27.2%	19.7%	17.7%	19.4%
お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由な〈暮らせるための施設を充 実させる	64.2%	71.5%	73.7%	65.6%	70.0%
若い世代向けの住宅を多く供給する	28.4%	23.2%	21.1%	21.0%	16.9%
事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす	50.5%	50.3%	51.3%	53.2%	57.5%
芸術などの文化活動を活発にする	2.8%	5.3%	6.1%	4.8%	0.6%
魅力ある観光やイベントなどを充実させて、たくさんの人を集め、賑わいをつくる	29.4%	23.2%	24.1%	29.0%	19.4%
農林漁業の安定のための事業環境を整える	12.8%	7.9%	9.6%	9.7%	19.4%
鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする	35.8%	41.1%	38.2%	42.5%	42.5%
水害、土砂災害などの防災に対する安心感を高める	20.2%	15.9%	20.6%	18.8%	10.0%
その他	3.7%	4.0%	3.1%	2.7%	1.9%

1-3-2 年齢層別

年齢別の分析は、10歳代ごとに回答を得ている年齢の区分を以下のとおりの年齢層に区分して分析を行います。

《分析を行う年齢層》

年齢層	対象とする年代
次世代層	10 歳代、20 歳代、30 歳代
中堅層	40 歳代、50 歳代
高齢層	60 歳代、70 歳以上

(1) お住いの地域の特徴:問4

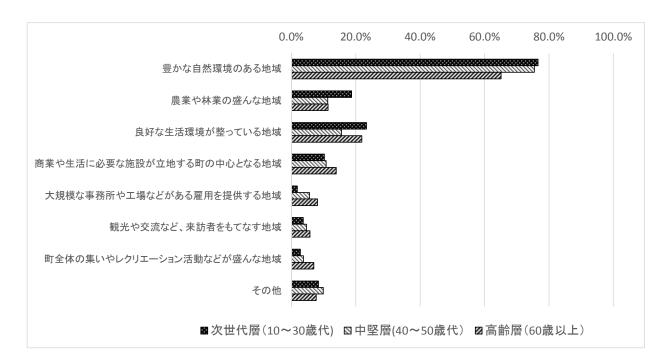
お住いの地域の特徴については、各年齢層ともに「豊かな自然環境のある地域」が6~7割台で最も多くなっています。次いで、「良好な生活環境が整っている地域」、「農業や林業の盛んな地域」、「商業や生活に必要な施設が立地する町の中心となる地域」の順で高く、全体的には年齢層による大きな差はみられません。

「豊かな自然環境のある地域」では、「次世代層」と「中堅層」が7割台半ば、「高齢層」が6割台半ばであり、若い世代でやや高くなっています。また、「農業や林業の盛んな地域」においても「次世代層」が18.7%で最も高くなっており、「次世代層」で自然や農地を地域の特徴(自慢できるところ)としての認識が強くなっています。

一方、都市的な土地利用に関しては、「良好な生活環境が整っている地域」は「次世代層」が 23.4%で最も高く、また、「商業や生活に必要な施設が立地する町の中心となる地域」は「高齢層」が 14.0%で最も高くなっています。「中堅層」においては、都市的な土地利用を地域の特徴として捉える考えが若干、弱いものと言えます。

【年齢層別のまとめ】

- ■お住いの地域の特徴(自慢したいところ)については、以下の4項目に集約され、全体的な傾向では年齢層による大きな差はみられません。
 - ○豊かな自然環境のある地域
 - ○良好な生活環境が整っている地域
 - ○農業や林業の盛んな地域
 - ○商業や生活に必要な施設が立地する町の中心となる地域
- ■「次世代層」では、自然的な環境(自然、農地など)を地域の特徴としての認識が強くなっています。
- ■「中堅層」では、都市的な土地利用(居住や商業など)を地域の特徴としての意識が 若干、弱くなっています。



			回:	答数(年代)	引)			回答	者数(年齢	介層)
選択肢		次世代層		中国	图图	高曲	帰	次世代層	中堅層	高齢層
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	久臣10個	十 王/i	
豊かな自然環境のある地域	6	41	35	71	89	159	177	82	160	336
農業や林業の盛んな地域	3	8	9	12	12	28	31	20	24	59
良好な生活環境が整っている地域	2	16	7	18	15	39	74	25	33	113
商業や生活に必要な施設が立地する町の中心となる地域	0	4	7	11	12	28	44	11	23	72
大規模な事務所や工場などがある雇用を提供する地域	0	0	2	5	7	17	25	2	12	42
観光や交流など、来訪者をもてなす地域	0	1	3	4	6	15	15	4	10	30
町全体の集いやレクリエーション活動などが盛んな地域	0	2	1	4	4	15	21	3	8	36
その他	0	2	7	4	17	22	18	9	21	40
n	8	49	50	90	122	227	289	107	212	516
			H	率(年代別)			比	率(年齢層	暑)
選択肢		次世代層		中国	区層	高曲	令層	次世代層	中堅層	高齢層
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	久匠八店	十王店	百四百
豊かな自然環境のある地域	75.0%	83.7%	70.0%	78.9%	73.0%	70.0%	61.2%	76.6%	75.5%	65.1%
農業や林業の盛んな地域	37.5%	16.3%	18.0%	13.3%	9.8%	12.3%	10.7%	18.7%	11.3%	11.4%
良好な生活環境が整っている地域	25.0%	32.7%	14.0%	20.0%	12.3%	17.2%	25.6%	23.4%	15.6%	21.9%
商業や生活に必要な施設が立地する町の中心となる地域	0.0%	8.2%	14.0%	12.2%	9.8%	12.3%	15.2%	10.3%	10.8%	14.0%
大規模な事務所や工場などがある雇用を提供する地域	0.0%	0.0%	4.0%	5.6%	5.7%	7.5%	8.7%	1.9%	5.7%	8.1%
観光や交流など、来訪者をもてなす地域	0.0%	2.0%	6.0%	4.4%	4.9%	6.6%	5.2%	3.7%	4.7%	5.8%
町全体の集いやレクリエーション活動などが盛んな地域	0.0%	4.1%	2.0%	4.4%	3.3%	6.6%	7.3%	2.8%	3.8%	7.0%
その他	0.0%	4.1%	14.0%	4.4%	13.9%	9.7%	6.2%	8.4%	9.9%	7.8%

(2) 本町の将来像:問5

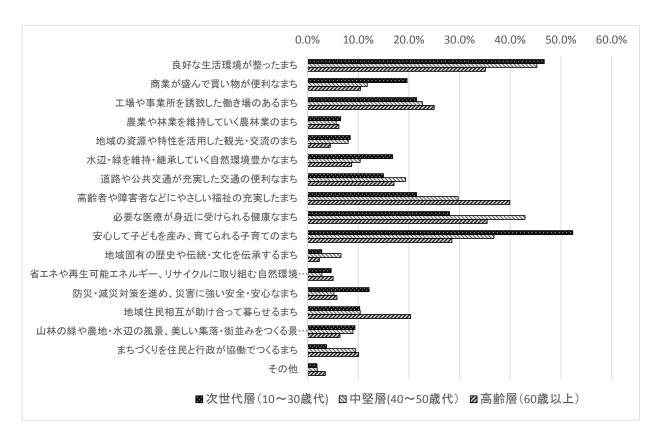
本町の将来像について、「次世代層」では「安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち」が52.3%で最も高く、唯一、過半数を超えており、将来像としての関心の高さが伺えます。次いで、「良好な生活環境が整ったまち」が46.7%となっており、子育てや居住などの環境を将来に求める意向が伺えます。一方で、「高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち」や「必要な医療が身近に受けられる健康なまち」などの健康・医療、福祉の関連では、「中堅層」「高齢層」と比べて低く、その差が大きくなっています。

「中堅層」では、「良好な生活環境が整ったまち」が 45.3%で最も高く、次いで、「必要な医療が身近に受けられる健康なまち」が 42.9%となっており、居住環境とともに健康・医療に関する充実を将来に求める意向が伺えます。

「高齢層」では、「高齢者や障害者などにやさしい福祉の充実したまち」が 39.9%で最も高く、次いで、「必要な医療が身近に受けられる健康なまち」が 35.5%、「良好な生活環境が整ったまち」が 35.1%の順で高くなっています。これらは、いずれも3割台後半となっており、福祉や健康・医療及び居住環境の充実を求める意見が分かれています。一方、「安心して子どもを産み、育てられる子育てのまち」では、「次世代層」と比べて低く、20 ポイント以上の大きな差がみられます。

その他の意見では、「工場や事業所を誘致した働き場のあるまち」が各世代で2割を超えています。また、「地域住民相互が助け合って暮らせるまち」は「高齢層」で、「道路や公共交通が充実した交通の便利なまち」は「中堅層」で、「商業が盛んで買い物が便利なまち」は「次世代層」で、それぞれ2割前後となっており、年齢層で求める将来像の違いがみられます。

【年齢層別のまとめ (将来像のキーワード)】 ■次世代層 ■中堅層 ■高齢層 ○子育てのまち ○良好な住環境のまち ○福祉のまち ○良好な住環境のまち ○健康・医療のまち ○良好な住環境のまち



10歳代 7 3 3 1 0	次世代層 20歳代 24 8 11 3	30歳代 19 10	中 ^国 40歳代 37	50歳代	高 60歳代	6層 70歳以上	次世代層	中堅層	高齢層
7 3 3 1	24 8 11	19 10			60歳代	70年以上	グロい店	十至后	同即行
3 1 0	8 11	10	37			/0成以工			
3 1 0	11			59	80	101	50	96	181
			10	15	22	32	21	25	54
	3	9	24	24	52	77	23	48	129
		3	6	6	11	21	7	12	32
	4	5	4	13	15	8	9	17	23
0	10	8	9	13	25	20	18	22	45
0	8	8	20	21	37	51	16	41	88
2	11	10	19	44	97	109	23	63	206
1	13	16	38	53	80	103			183
2		28	39		76	71			147
0	2	1	8	6	6	6	3	14	12
2	3	0	4	2	14	12	5	6	26
0	6	7	4	7	18	12	13	11	30
0	6	5	6	16	43	62	11	22	105
1	2	7	12		19		10	19	33
1	1								52
				_					18
8	49				227	289			516
		<u> </u>			古松园		比	平(年齢児	1)
! . ! !		15 115					次世代層	中堅層	高齢層
						/2/4 - 2 - 1	40.7%	45.0%	05.49/
			***************************************						35.1%
									10.5%
									25.0%
									6.2%
									4.5%
									8.7%
							~~~~	~~~~~	17.1%
~~~~~	***************************************			*****************					39.9%
~~~~~~		~~~~~~~	~~~~~~	~~~~~~~~~~		~~~~~~~~~~			35.5%
~~~~~~		~~~~~~~		~~~~~~~~~			~~~~	~~~~~~~~~	28.5%
0.0%	4.1%	2.0%	8.9%	4.9%	2.6%	2.1%	2.8%	6.6%	2.3%
05.0%	6.10	0.0%	4.40/	1.00/	6.00	4.00/	4 70	0.00	F 00
***************************************									5.0%
									5.8%
0.0%	12.2%	10.0%	b./%	13.1%	18.9%	21.5%	10.3%	10.4%	20.3%
12.5%	4 1%	14 0%	13.3%	5.7%	8 4%	4.8%	9.3%	9.0%	6.4%
									10.1%
							***************************************		3.5%
	1 2 0 2 0 0 0 1 1 1	1 13 2 26 0 2 2 3 0 6 0 6 1 2 1 1 1 1 0 1 8 49 次世代層 10歳代 20歳代 87.5% 49.0% 37.5% 16.3% 37.5% 22.4% 12.5% 6.1% 0.0% 20.4% 0.0% 20.4% 12.5% 26.5% 25.0% 22.4% 12.5% 26.5% 25.0% 53.1% 0.0% 4.1% 25.0% 6.1% 0.0% 12.2% 0.0% 12.2% 0.0% 12.2% 12.5% 4.1% 12.5% 4.1% 12.5% 4.1% 12.5% 4.1% 12.5% 4.1% 12.5% 4.1%	1 13 16 2 26 28 0 2 11 2 3 0 0 0 6 7 0 6 7 0 6 5 1 2 7 1 1 1 2 7 1 1 1 2 7 1 1 1 1 2 0 1 1 1 1 8 49 50	1 13 16 38 2 26 28 39 0 2 1 8 2 3 0 4 0 6 7 4 0 6 7 4 0 6 5 6 1 2 7 12 1 1 1 2 7 12 1 1 1 2 7 0 1 1 1 2 7 0 1 1 1 2 7 0 1 1 1 2 7 0 1 1 1 2 7 0 1 1 1 2 7 0 1 1 1 2 7 0 1 1 1 2 7 0 1 1 1 2 7 0 1 1 1 1 2 7 0 1 1 1 1 2 7 0 1 1 1 1 2 7 0 1 1 1 1 2 7 0 1 1 1 1 2 7 0 90	1 13 16 38 53 2 26 28 39 39 0 2 1 8 6 2 39 39 0 4 2 0 6 7 4 7 0 6 7 4 7 0 6 5 6 16 1 2 7 12 7 1 1 1 2 7 12 7 1 1 1 2 7 13 0 1 1 1 2 7 13 0 1 1 1 2 2 7 13 0 1 1 1 2 2 7 13 0 1 1 1 2 2 7 13 0 1 1 1 2 2 2 8 49 50 90 122 比率(年代別) 次世代暦 中堅層 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 50歳代 50歳代 50歳代 50歳代 50歳代 50歳代 5	1 13 16 38 53 80 2 26 28 39 39 76 0 2 1 8 6 6 6 2 3 3 0 4 2 14 0 6 7 4 7 18 0 6 7 4 7 18 0 6 5 6 16 43 1 2 7 12 7 19 1 1 1 2 7 13 17 0 1 1 1 2 7 13 17 0 1 1 1 2 7 13 17 0 1 1 1 2 2 7 13 17 0 1 1 1 2 2 7 13 17 0 1 1 1 2 2 13 8 49 50 90 122 227	1 1 13 16 38 53 80 103 2 26 28 39 39 76 71 0 2 1 8 6 6 6 6 2 3 3 0 4 2 14 12 0 6 7 4 7 18 12 0 6 7 4 7 18 12 0 6 7 4 7 18 12 0 6 7 6 5 6 16 43 62 1 2 7 12 7 19 14 1 1 2 7 19 14 1 1 1 2 7 19 14 1 1 1 2 7 13 17 35 0 1 1 1 2 7 13 17 35 0 1 1 1 1 2 2 2 13 5 8 49 50 90 122 227 289	1 13 16 38 53 80 103 30 2 26 28 39 39 76 71 56 0 2 1 8 6 6 6 6 3 2 3 0 4 2 14 12 5 0 6 7 4 7 18 12 13 0 6 7 4 7 18 12 13 0 6 5 6 16 43 62 11 1 2 7 12 7 19 14 10 1 1 2 7 12 7 19 14 10 1 1 1 2 7 13 17 35 4 0 1 1 1 2 7 13 17 35 4 0 1 1 1 2 2 7 13 17 35 4 0 1 1 1 2 2 7 13 17 35 4 0 1 1 1 2 2 2 13 5 2 8 49 50 90 122 227 289 107	1 1 13 16 38 53 80 103 30 91 2 26 28 39 39 76 71 56 78 0 2 1 8 6 6 6 6 6 3 14 2 3 0 4 2 14 12 5 6 0 6 7 4 7 18 12 13 11 0 6 5 6 16 43 62 11 22 1 1 2 7 18 12 7 19 14 10 19 1 1 1 2 7 13 17 35 4 20 0 1 1 1 2 7 13 17 35 4 20 0 1 1 1 2 2 7 13 17 35 4 20 0 1 1 1 2 2 7 13 17 35 4 20 0 1 1 1 2 2 7 13 17 35 4 20 0 1 1 1 2 2 2 13 5 2 2 4 8 49 50 90 122 227 289 107 212

(3) 今後のまちづくりの取り組み:問6

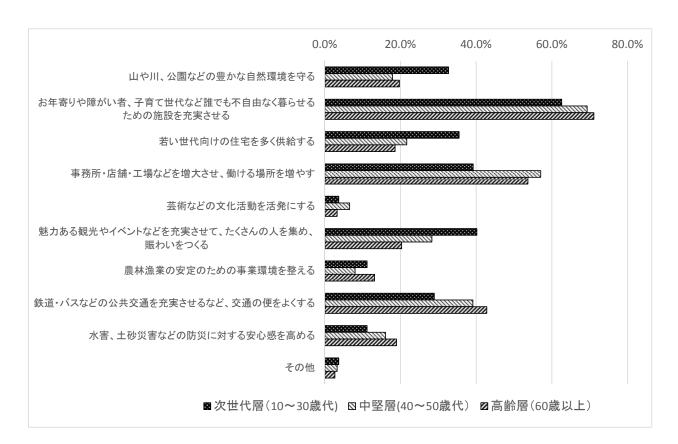
今後のまちづくりの取り組みについて、「お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不 自由なく暮らせるための施設を充実させる」が各年齢層ともに最も高く、特に、「中堅層」 「高齢者」で7割前後を占め、「次世代層」に比べて高くなっています。

また、「中堅層」「高齢者」では、「事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす」が5割台(過半数)、「鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする」が4割前後の順で高くなっていますが、「次世代層」では「事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす」が39.3%、「鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする」が29.0%と「中堅層」「高齢者」に比べて低くなっており、年齢層により意向の違いがみられます。

一方、「次世代層」では、「魅力ある観光やイベントなどを充実させて、たくさんの人を集め、賑わいをつくる」が 40.2%、「若い世代向けの住宅を多く供給する」が 35.5%、「山や川、公園などの豊かな自然環境を守る」が 32.7%で高くなっているものの、「中堅層」「高齢者」ではいずれも $1\sim2$ 割台となっており、これらの取り組みにおいても年齢層による違いがみられます。

【年齢層別のまとめ】

- ■各年齢層共有
 - ○高齢者をはじめとする福祉施設や子育て支援施設の充実
- ■次世代層
 - ○観光・イベントの充実(街の賑わいづくり)
 - ○若い世代向けの住宅の供給
 - ○豊かな自然環境の保全
- ■中堅層·高齢層
 - ○商業・工業の活性化(雇用の促進)
 - ○公共交通の充実



	回答数(年代別)							回答者数(年齢層)		
選択肢		次世代層			中堅層		高齢層		中堅層	高齢層
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	次世代層	中至階	同即沿
山や川、公園などの豊かな自然環境を守る	2	14	19	21	17	44	58	35	38	102
お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由なく暮らせるための			31	64						
施設を充実させる	7	29			83	163	204	67	147	367
若い世代向けの住宅を多く供給する	1	26	11	25	21	49	47	38	46	96
事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす	2	18	22	44	77	124	153	42	121	277
芸術などの文化活動を活発にする	2	1	1	6	8	6	11	4	14	17
魅力ある観光やイベントなどを充実させて、たくさんの人を集め、賑わい			20	21						
をつくる	5	18			39	55		43	60	105
農林漁業の安定のための事業環境を整える	0	6	6	8	9	29	39	12	17	68
鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする	4	15	12	36	47	83	138	31	83	221
水害、土砂災害などの防災に対する安心感を高める	1	7	4	13	21	51	47	12	34	98
その他	0	2	2	2	5	9	5	4	7	14
n	8	49	50	90	122	227	289	107	212	516
			H	(年代別])			比	(年齢層)	를)
選択肢		次世代層		中堅層		高齢層		次世代層	中堅層	高齢層
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	久匠八店	十生店	百四四
山や川、公園などの豊かな自然環境を守る	25.0%	28.6%	38.0%	23.3%	13.9%	19.4%	20.1%	32.7%	17.9%	19.8%
お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由なく暮らせるための	***********				************					***************************************
施設を充実させる	87.5%	59.2%	62.0%	71.1%	68.0%	71.8%	70.6%	62.6%	69.3%	71.1%
若い世代向けの住宅を多く供給する	12.5%	53.1%	22.0%	27.8%	17.2%	21.6%	16.3%	35.5%	21.7%	18.6%
事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす	25.0%	36.7%	44.0%	48.9%	63.1%	54.6%	52.9%	39.3%	57.1%	53.7%
芸術などの文化活動を活発にする	25.0%	2.0%	2.0%	6.7%	6.6%	2.6%	3.8%	3.7%	6.6%	3.3%
魅力ある観光やイベントなどを充実させて、たくさんの人を集め、賑わい										
をつくる	62.5%	36.7%	40.0%	23.3%	32.0%	24.2%	17.3%	40.2%	28.3%	20.3%
農林漁業の安定のための事業環境を整える	0.0%	12.2%	12.0%	8.9%	7.4%	12.8%	13.5%	11.2%	8.0%	13.2%
鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする	50.0%	30.6%	24.0%	40.0%	38.5%	36.6%	47.8%	29.0%	39.2%	42.8%
水害、土砂災害などの防災に対する安心感を高める	12.5%	14.3%	8.0%	14.4%	17.2%	22.5%	16.3%	11.2%	16.0%	19.0%
その他	0.0%	4.1%	4.0%	2.2%	4.1%	4.0%	1.7%	3.7%	3.3%	2.7%

第2章 中学生まちづくりアンケート調査の集計・分析

2-1. 調査概要

2-1-1 調査の目的

「東吾妻町都市計画マスタープラン」の策定にあたって、現在のまちの問題・課題や将来の まちづくりに関する、中学生の意見を反映することを目的として実施しています。

2-1-2 中学生アンケートの実施概況

(1)調査対象者

○本町内の中学3年生全員(113名)

(2)調査方法

- ○教育委員会を通じて調査を依頼し、中学校に調査票を配布
- ○学校の教室内で生徒へ調査票を配布し、その場で回収

(3)調査期間

○依頼日:平成29年11月27日(月)学校へ依頼

○回収 : 平成 29 年 12 月 4 日 (月) 回収

2-1-3 アンケート調査の回収結果

○回収数: 105票

○回収率:92.9%

2-1-4 調査結果の見方

- ○集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、数値の合計は 100.0%にならない場合があります。
- ○回答の比率(%)は、その質問の回答者を基数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。

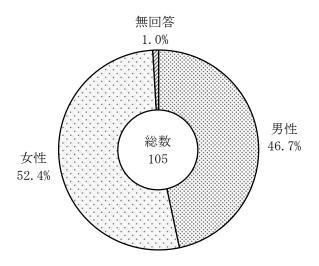
2-2. 調査結果の分析

2-2-1 ご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。 (該当する番号1つに○)

「男性」が46.7%、「女性」が52.4%となっています。

【問1 全体集計】

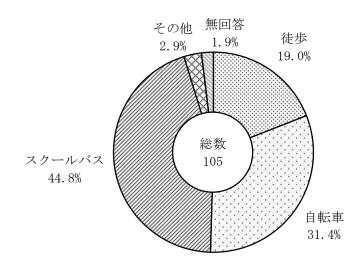


問2. 通学手段をお答えください。

(該当する番号1つに○)

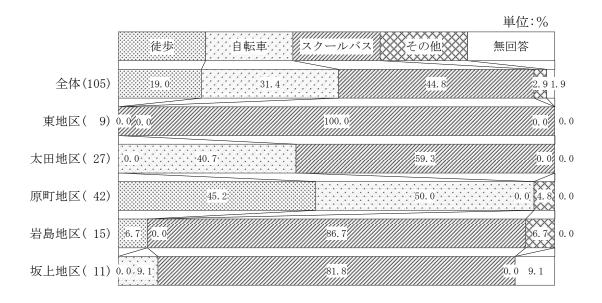
「スクールバス」が 44.8%で最も多く、約半数を占めています。第2位は「自転車」の 31.4%、第3位は「徒歩」の 19.0%となっています。

【問2 全体集計】



地区別にみると、「スクールバス」は原町地区を除く全ての地区で、半数以上を占めており、 東地区、岩島地区、坂上地区では8割以上と多くなっています。「自転車」は原町地区が 50.0% で最も多く、次いで太田地区の 40.7%となっています。「徒歩」は原町地区が 45.2%で最も多く なっています。

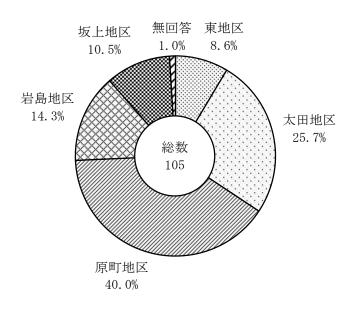
【問2 地区別集計】



問3. お住いの地区をお答えください。 (該当する番号1つに○)

「原町地区」が 40.0%で最も多くなっています。次いで「太田地区」の 25.7%、「岩島地区」の 14.3%、「坂上地区」の 10.5%、「東地区」の 8.6%となっています。

【問3 全体集計】

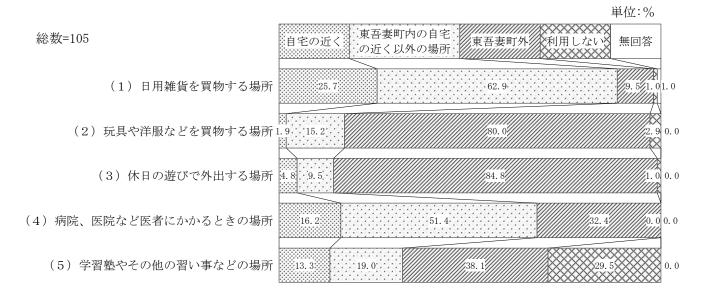


2-2-2 ご自身の行動について

問4. 日頃の行動についてうかがいます。(1) \sim (5) の行動ごとに、あなたがよく利用している場所をお答えください。(それぞれ該当する番号1つに \bigcirc)

「自宅の近く」は"(1)日用雑貨を買物する場所"が25.7%で最も多く、全ての項目で3割未満となっています。「東吾妻町内の自宅の近く以外の場所」は"(1)日用雑貨を買物する場所"が62.9%で最も多く、次いで"(4)病院、医院など医者にかかるときの場所"が51.4%となっています。「東吾妻町外」は"(3)休日の遊びで外出する場所"、"(2)玩具や洋服などを買物する場所"の順に多く、それぞれ8割以上となっています。また、"(4)病院、医院など医者にかかるときの場所"、"(5)学習塾やその他の習い事などの場所"でも3割以上となっています。

【問4 全体集計】

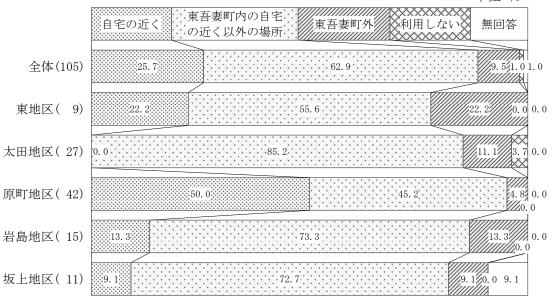


(1) 日用雑貨を買物する場所

「自宅の近く」は原町地区が 50.0%で最も多く、それ以外の地区では3割未満となっています。「東吾妻町内の自宅の近く以外の場所」は太田地区が 85.2%で最も多く、岩島地区、坂上地区でも7割以上となっています。「東吾妻町外」は東地区が 22.2%で最も多くなっています。

【問4(1) 地区別集計】

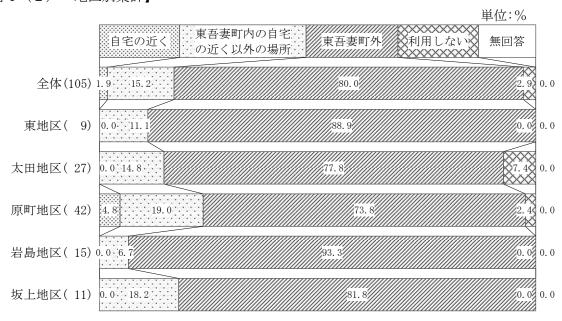
単位:%



(2) 玩具や洋服などを買物する場所

「自宅の近く」は全ての地区で1割未満と低くなっています。「東吾妻町内の自宅の近く以外の場所」は原町地区が19.0%で最も多く、全ての地区で2割未満となっています。「東吾妻町外」は岩島地区が93.3%で最も多く、全ての地区で7割以上となっています。

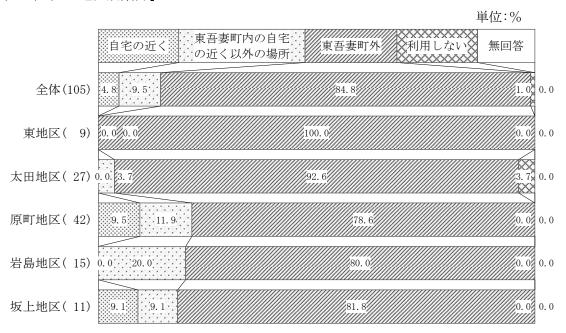
【問4(2) 地区別集計】



(3)休日の遊びで外出する場所

「自宅の近く」は全ての地区で1割未満となっています。「東吾妻町内の自宅の近く以外の場所」は岩島地区が20.0%で最も多く、それ以外の地区では2割未満となっています。「東吾妻町外」は全ての地区で7割以上となっています。

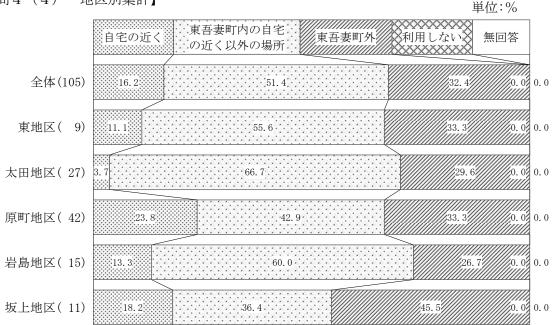
【問4(3) 地区別集計】



(4)病院、医院など医者にかかるときの場所

「自宅の近く」は原町地区が 23.8%で最も多くなっています。「東吾妻町内の自宅の近く以外の場所」は太田地区、岩島地区の順に多く、それぞれ6割以上となっています。「東吾妻町外」は坂上地区が 45.5%で最も多くなっています。

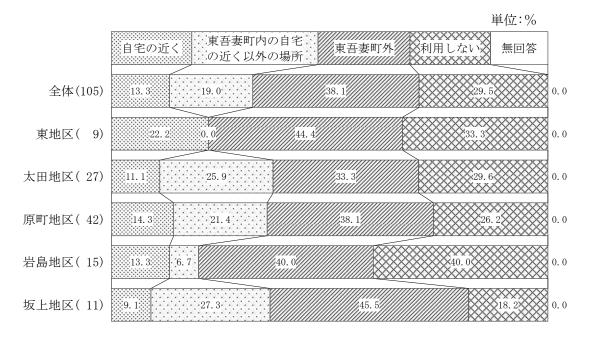
【問4(4) 地区別集計】



(5) 学習塾やその他の習い事などの場所

「自宅の近く」は東地区が 22.2%で最も多くなっています。「東吾妻町内の自宅の近く以外の場所」は坂上地区が 27.3%で最も多く、太田地区、原町地区でも2割以上となっています。「東吾妻町外」は坂上地区、東地区、岩島地区の順に高く、それぞれ4割以上となっています。

【問4(5) 地区別集計】



2-2-3 現在の東吾妻町について

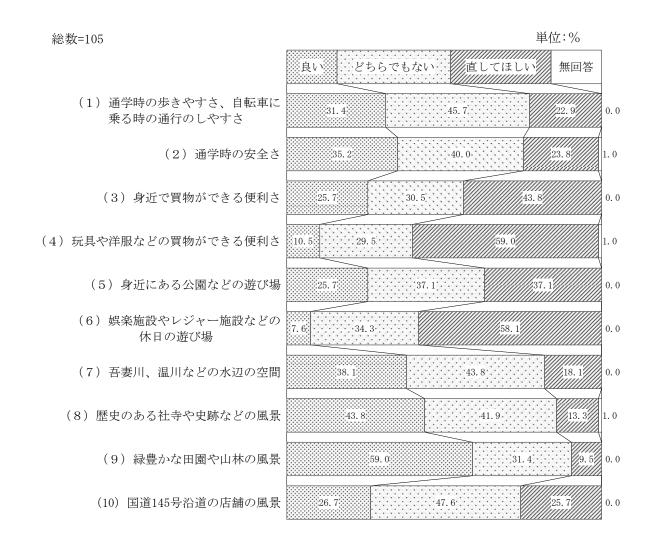
問5. 東吾妻町の「良いところ」と、「直してほしいところ」についてうかがいます。

(1)~(10) の項目について、あなたのお考えをお答えください。

(それぞれ該当する番号1つに○)

「良い」は"(9) 緑豊かな田園や山林の風景"が 59.0%で最も多く、次いで"(8) 歴史のある社寺や史跡などの風景"で 43.8%となっています。「直してほしい」は"(4) 玩具や洋服などの買物ができる便利さ"、"(6) 娯楽施設やレジャー施設などの休日の遊び場"の順に高く、それぞれ約6割となっています。

【問5 全体集計】



(1) 通学時の歩きやすさ、自転車に乗る時の通行のしやすさ

「良い」は坂上地区が 18.2%で最も低く、その他の地区では約3割となっています。「直してほしい」は太田地区が 37.0%で最も多く、原町地区でも2割以上となっています。

【問5(1) 地区別集計】

単位:%

		+111.	
	良いとちらでもないし直してほしい	無回答	
全体(105)	31. 4: 45. 7	22.9	0.0
東地区(9)	33. 3	11.1	0.0
太田地区(27)	29.6 33.3 37.0		0.0
原町地区(42)	33.3 42.9	23. 8	0.0
岩島地区(15)	33.3 60.0	6. 7	0.0
坂上地区(11)	18. 2: 63. 6	18. 2	0.0

(2) 通学時の安全さ

「良い」は東地区と岩島地区で4割以上となっています。「直してほしい」は太田地区が37.0%で最も多くなっています。

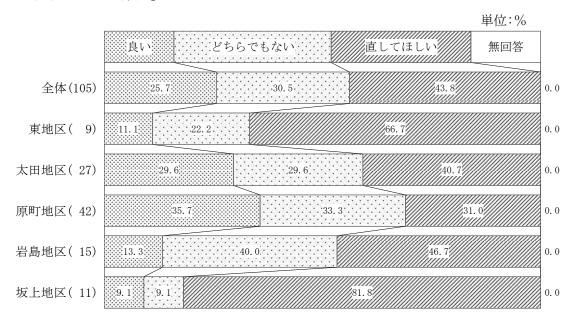
【問5(2) 地区別集計】

単位:% 良い どちらでもない 直してほしい 無回答 23. 8 35. 2 全体(105) 40.0 1.0 22. 2 44. 4 東地区(9) 33.3 0.0 37.0 29. 6 太田地区(27) 33. 3 0.0 21. 4 0.0 原町地区(42) 38. 1 40.5 20.0 岩島地区(15) 40.0 33.3 9. 1 0. 0 72. 7 18.2 坂上地区(11)

(3) 身近で買物ができる便利さ

「良い」は原町地区が 35.7%で最も多く、次いで太田地区が 29.6%となっています。「直してほしい」は坂上地区が 81.8%で最も多く、東地区でも 66.7%となっています。

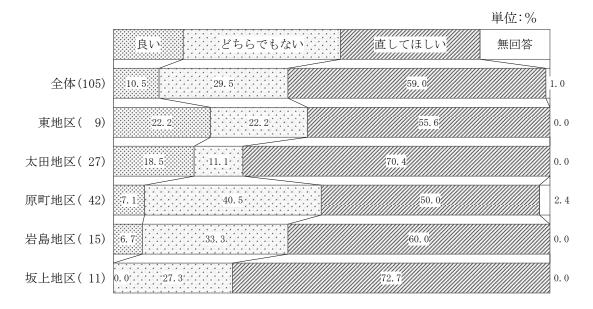
【問5(3) 地区別集計】



(4) 玩具や洋服などの買物ができる便利さ

「良い」は東地区が 22.2%で最も多くなっています。「直してほしい」は坂上地区と太田地区で7割以上と多く、その他の地区でも5割以上となっています。

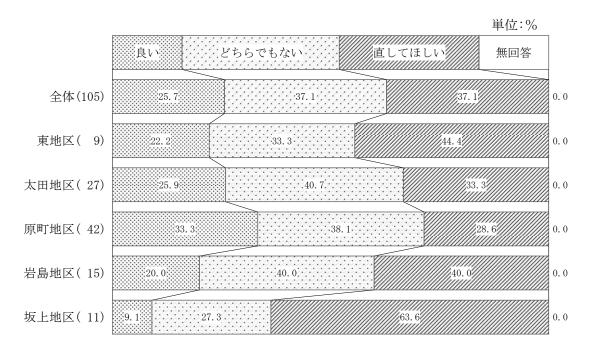
【問5(4) 地区別集計】



(5) 身近にある公園などの遊び場

「良い」は原町地区が 33.3%で最も多く、坂上地区を除く全ての地区で2割以上となっています。「直してほしい」は坂上地区が 63.6%で最も多くなっています。

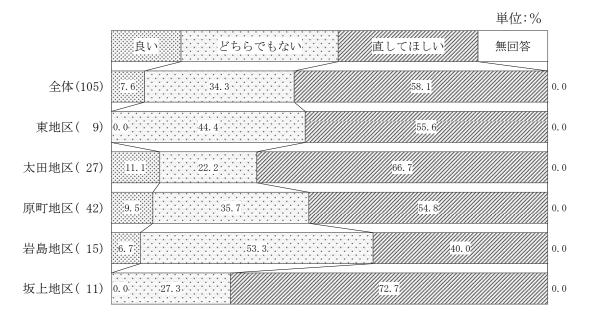
【問5(5) 地区別集計】



(6) 娯楽施設やレジャー施設などの休日の遊び場

「良い」は太田地区が 11.1%で最も多く、その他の地区では1割未満にとどまっています。 「直してほしい」は坂上地区が 72.7%で最も多く、岩島地区を除く全ての地区で5割以上となっています。

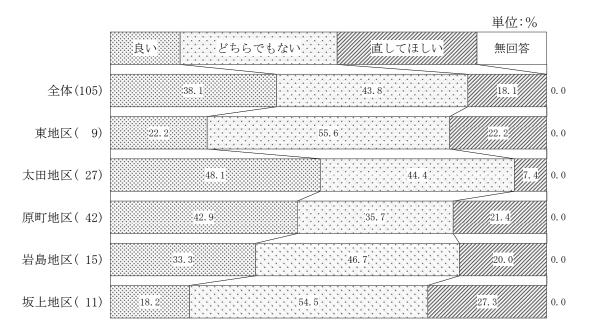
【問5(6) 地区別集計】



(7) 吾妻川、温川などの水辺の空間

「良い」は太田地区、原町地区の順に高く、それぞれ4割以上となっています。「直してほしい」は坂上地区が27.3%で最も多く、太田地区を除く全ての地区で2割以上となっています。

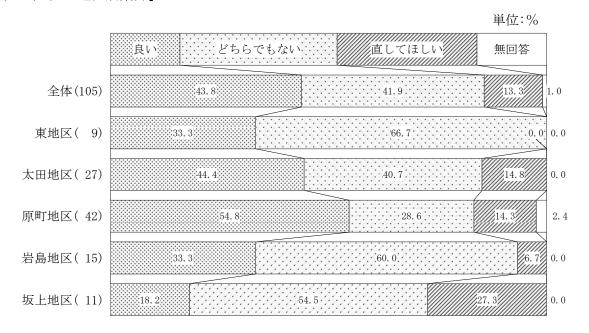
【問5(7) 地区別集計】



(8) 歴史のある社寺や史跡などの風景

「良い」は原町地区が 54.8%で最も多く、次いで太田地区で 44.4%となっています。「直してほしい」は坂上地区が 27.3%で最も多くなっています。

【問5(8) 地区別集計】



(9) 緑豊かな田園や山林の風景

「良い」は太田地区が 74.1%で最も多く、坂上地区を除く全ての地区で5割以上となっています。「直してほしい」は坂上地区が 18.2%で最も多くなっています。

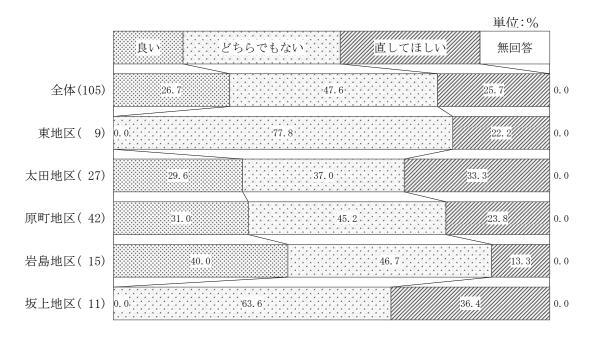
【問5(9) 地区別集計】

単位:% 直してほしい 良い どちらでもない 無回答 9. 5 全体(105) 59.0 31.4 0.0 東地区(9) 66. 7 0.0 0.0 33. 3 太田地区(27) 74. 1 18.5 0.0 14. 3 57. 1 0.0 原町地区(42) 28.6 岩島地区(15) 53. 3 46.7 0.0 0.0 18. 2 坂上地区(11) 27. 3: 0.0 54.5

(10) 国道 145 号沿道の店舗の風景

「良い」は岩島地区が 40.0%で最も多く、次いで原町地区で 31.0%となっています。「直してほしい」は坂上地区、太田地区の順に高く、それぞれ 3割以上となっています。

【問5(10) 地区別集計】



2-2-4 将来の東吾妻町について

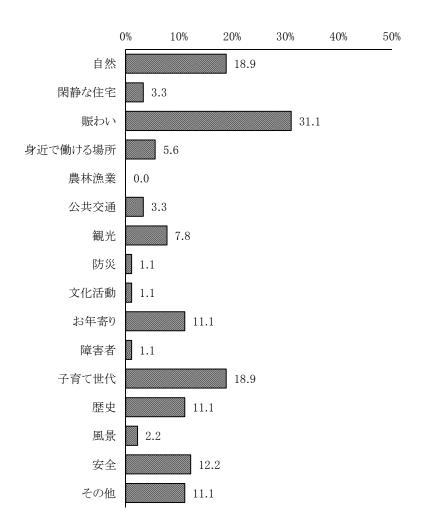
(1) 将来像

問6. 東吾妻町は、将来、どのような町になってほしいと思いますか。

下記の【キーワード】を参考に、「将来のまちづくりのキャッチフレーズ」と「その理由」を お答えください。(回答欄に自由記述)

90 件の回答のうち、キャッチフレーズに使われたキーワードをみると、「賑わい」が最も多く28 件(31.1%)となっており、次いで「自然」、「子育て世代」が17 件(18.9%)となっています。

【問6 キャッチフレーズのキーワード】



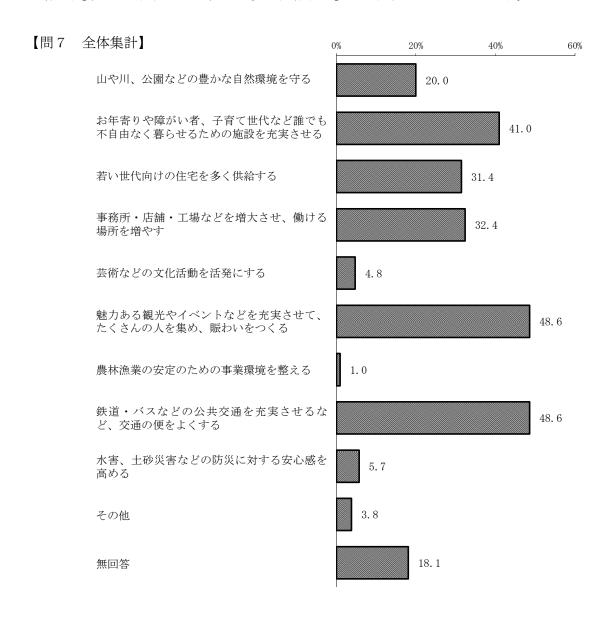
【問6 自由意見:キャッチフレーズとその理由】

※別紙資料を参照

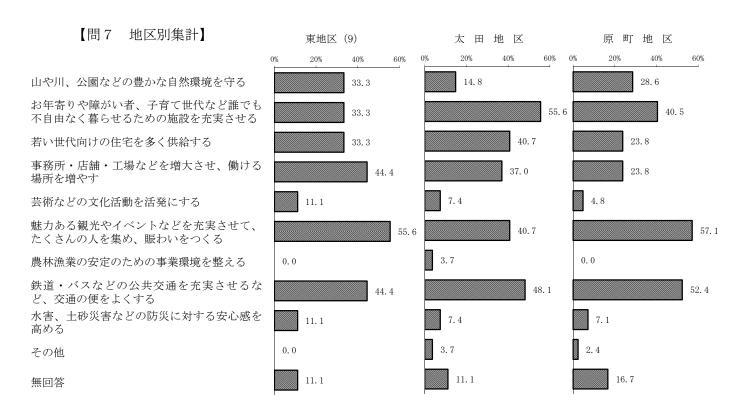
(2) 将来に必要な取り組み

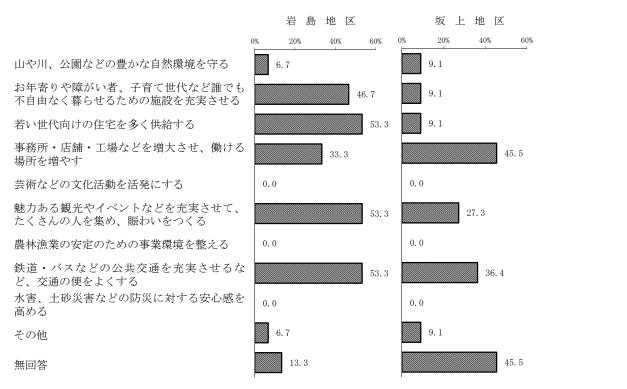
問7. 将来、今よりも暮らしやすい東吾妻町をつくるためには何が必要だと考えますか。あなたのお考えに近いものをお答えください。(該当する番号3つまでに○)

「魅力ある観光やイベントなどを充実させて、たくさんの人を集め、賑わいをつくる」、「鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする」がともに 48.6%で最も多くなっています。次いで「お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由なく暮らせるための施設を充実させる」が 41.0%となっており、「事務所・店舗・工場などを増大させ、働ける場所を増やす」、「若い世代向けの住宅を多く供給する」も3割以上となっています。



地区別にみると、「魅力ある観光やイベントなどを充実させて、たくさんの人を集め、賑わいをつくる」は、原町地区、東地区、岩島地区の順に高く、それぞれ5割以上となっています。「鉄道・バスなどの公共交通を充実させるなど、交通の便をよくする」は、岩島地区、原町地区で5割以上となっています。「お年寄りや障がい者、子育て世代など誰でも不自由なく暮らせるための施設を充実させる」は太田地区が55.6%で他の地区と比べて多くなっています。





(3) 将来のまちのすがた

問8. 最後に将来の「東吾妻町のまちのすがた」について、ご意見をお聞かせください。

将来のまちのすがたとして、豊かな自然を残し、観光資源を PR していくなど、現在のまちの 良さを今後も活かしていくといった意見が挙げられています。

一方で、現在のまちの課題として、人口減少の対策や公共交通の充実、賑わいの創出など、より住みやすいまちになるよう、改善を行っていくといった意見も多くみられます。

【問8 自由意見:将来のまちのすがた】

※別紙資料を参照

2-2-5 調査結果のまとめ

「中学生まちづくりアンケート」の各設問に対する回答結果を基に、東吾妻町の現況を踏まえた上で、「都市計画マスタープラン」の各施策への反映について検討します。具体的には、全体を通してまとまっている中学生の意見は全体構想に、地区別に大きく異なる意見は地域別構想に反映する方向で整理します。

(1)土地利用について

[※問5(3)(4)(6)、問6より]

- ○日用品の買い物について、全中学生の過半数が買物に不便ではない(「良い」または「どちらでもない」)と考えています。ただし、本町の縁辺部にあたる坂上地区、東地区においては身近な買い物環境に対する不満が特に多くなっています。
- ○一方、買い回り品の買い物については、移動手段が限られる全中学生の6割弱が不満を持っています。ただし、中之条町や渋川市へのアクセスが比較的良い、太田地区や東地区では、満足している割合が比較的高くなっています。
- ○娯楽・レジャーについても全中学生の6割弱が不満を持っていますが、これらについては 中之条町や渋川市の近隣の市町でも充足できていない様子が伺えます。
- ○町の将来のキーワードについては、買い物の便利さへの不満から、「賑わい」への期待が 3割超で高くなっています。また「子育て」への期待の高さは、中学生も人口減少、少子 高齢化の現状や問題点を認識しているものと考えられます。「自然」については、本町の 最も大きな特徴であると認識されていることが伺えます。

(2) 都市施設について

【生活道路〔※問5(1)(2)より〕】

○「通学時の歩きやすさ」や「安全」については、スクールバスの利用率が高いこともあり 全中学生の8割弱が不便ではない(「良い」または「どちらでもない」)と考えています。 地区別では、太田地区で不満が突出して高くなっています。

【公園〔※問5(5)より〕】

○身近な公園については、原町地区で3割以上が良いとしており、一定の評価が得られています。一方で、全中学生の4割近くが直してほしいとしており、特に山間部に位置する坂上地区では不満が突出して高くなっています。

【公共施設〔※問4、問5 (自由意見)、問7より〕】

- ○中学生の「学習塾・習い事」の利用は7割を超えていますが、本町外の利用が多くを占めています。特に近隣都市との繋がりが強い坂上地区、東地区、岩島地区では顕著な傾向にあり、本町内の需要に対応する施設の立地が望まれます。
- ○人口減少、少子高齢化の現状や問題点の認識から、「福祉施設や子育て施設」などの充実 を求める意見が多くなっています。

(3)公共交通について

[※問2、問7、問5 (自由意見)より]

- ○スクールバスの利用率が高いことから、通学時の不満は少なくなっています。しかし、移動手段が限られる中学生にとっては、買回り品の買い物(玩具や洋服)や休日の遊び場などに不満が高くなっており、公共交通の不便さが要因の一つに挙げられます。さらに、将来に必要なこととして、公共交通の利便性を充実させることが望まれています。
- ○中学生の自転車通学も3割以上を占めており、通学路の安全性の向上が求められています。 特に原町地区では徒歩・自転車通学が95%を占めており、歩道整備などの必要性が高くなっています。

(4)都市環境について

【歴史・自然〔※問5 (自由意見)、問6より〕】

○中学生にとっても、豊かな自然や歴史資源については本町の特徴として理解されており、 将来のまちづくりに活かしていく方向性が伺えます。

【観光資源〔※問6、問7より〕】

○将来に必要な取り組みとして、観光やイベントなどによる集客・交流人口の増加、さらに、 町の活性化、賑わいづくりが望まれています。特に、本町の中心的な鉄道駅や商業地を有 する「原町地区」では要望が高くなっており、自然や観光資源の活用のほか、本町の鉄 道・バス等交通の結節点や商業地の賑わいづくりへの取り組みも期待されているものと想 定されます。

(5) 都市景観について

[※問5(7)(8)(9)(10)より]

- ○「水辺の空間」「歴史ある風景」「田園や山林の風景」については概ね評価が高くなっています。ただし坂上地区においては著しく評価が低く、豊富な地域資源が活かされていないこと、または、景観等の環境悪化への懸念などが想定されます。
- ○国道145号が通る原町地区・岩島地区では、沿道景観についての評価は比較的高くなって おり、今後も良好な沿道景観の維持・充実が求められています。

(6) 防犯・防災について

〔※問7、自由意見より〕

○中学生の自然災害への意識は低いと考えられ、本町においては、大きな自然災害が発生していないことが要因として考えられます。しかし、土砂災害等の危険性のある区域が本町内に多数指定されている箇所があり、生徒・児童に対する防災への意識改革や啓発活動が求められます。また、同時に、交通手段が限られる中学生にとって、夜道などの事故・犯罪への意識向上、対策も検討する必要があります。

第3章 総合計画策定のための町民アンケート調査を活用した分析

3-1. 調査概要

3-1-1 調査の目的

東吾妻町のまちづくりに関する町民の意見や評価を把握し、「東吾妻町第2次総合計画」に 反映することを目的としています。

なお、まちづくりに関する一部の設問の集計結果については、都市計画マスタープラン策定にも活用できることから、町民へ重複して伺うことを避け、総合計画策定のための町民アンケート調査を活用した分析を行うものとしています。

3-1-2 調査の実施概要

(1)調査対象者

○住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の町民1,800人(平成29年6月1日時点)

(2)調査方法

○郵送による調査票の配布・回収

(3)調査期間

○配布日 : 平成 29 年 6 月 16 日 ○回収期限: 平成 29 年 7 月 3 日

3-1-3 アンケート調査の回収結果

○発送数:1,800件 ○回収数: 876件

○回収率: 48.7%

3-1-4 調査結果の見方

○集計結果の構成比率(%)は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合があります。

3-2. 調査結果の集計・分析

分析を行う設問は、次のとおりとします。

- ①町が現在取り組んでいるまちづくりの施策の重要度・満足度
- ②まちづくりへの関与の意向

3-2-1 町が現在取り組んでいるまちづくりの施策の重要度・満足度

〇町が現在取り組んでいるまちづくりの施策の重要度・満足度

問 施策項目ごとに「(1)重要度」「(2)満足度」について5段階でお答えください。(42 項目それぞれ1つにO)

(1)集計・分析の方法

町が現在取り組んでいるまちづくりの施策は、調査を実施している42項目のうち、都市計画の分野に関連がある施策項目を抽出して、施策の重要度・満足度より評価・分析を行います。なお、評価・分析にあたっては、5段階の選択肢に点数を加え、その平均値(加重平均値)を各項目の評価点としています。

※加重平均とは:

5つの選択肢に、それぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点の点数を与え、その平均値(加重平均値)を求めて評価点としています。このため、評価点は2点から-2点の間に分布し、中間点の0点を境として、2点に近いほど重要度・満足度が高く、-2に近いほど重要度・満足度が低いことになります。

選択肢		点数
重要度	満足度	从数
重要	満足	2
どちらかと言えば重要	どちらかと言えば満足	1
どちらとも言えない		0
どちらかと言えば重要ではない	どちらかと言えば不満	– 1
重要ではない	不満	-2

また、施策の重要度・満足度の評価・分析を行う項目は、次のとおり25項目を抽出します。

	分野	評価項目(町民意識調査 まちづくり施策の評価項目)	
	住宅地	9.住宅の耐震化や空き家対策など住環境の整備	
	農林業	21. 農林水産業の振興	
土地利用	商業	24. 商業の振興	
雇用・産業	工業	25. 工業の振興	
	観光	23. 観光の振興	
	産業全般	20. 地域特性を生かした新産業や雇用の創出	
	幹線道路	6.国道・県道などの幹線道路の整備	
道路・交通	生活道路	7. 身近な生活道路の整備	
	公共交通	10. バス・鉄道など公共交通の充実	
	公園・広場	8.公園・広場の整備	
	下水道施設	17. 下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理	
		27. 高齢者福祉・介護保険制度の充実	
都市施設	 医療・福祉・子育	29. 地域で支え合う地域福祉の充実	
	医療・抽種・テ月 て・教育	30. 子育て支援の充実	
	C 数	31. 地域医療体制の充実	
		35. 幼稚園や小・中学校の施設の整備	
	歴史・文化資源	37. 歴史・文化・芸術的資産の保全と活用	
都市環境	自然環境・景観	15. 森林・河川など自然環境・景観の保全・活用	
(歴史文化、	安全・安心	11. 防災・減災のための環境の整備	
環境・防災)	X	12. 防犯・交通安全のための環境の整備	
**************************************	環境・エネルギー	14. 適切なごみ処理と減量・リサイクルの推進	
(低炭素まちづくり)		18. 省エネ・CO ₂ 排出量削減など環境問題対策の推進	
	広域連携	1.住民と行政との協働によるまちづくりの推進	
	四塚建協 のまちづくり	38. 地域間交流や都市間交流の推進	
י נושן נתכו	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	42. 周辺自治体との連携強化	

(2) 結果の分析

重要度の加重平均値をみると、「地域医療体制の充実」が1.57で最も高く、次いで、「高齢者福祉・介護保険制度の充実」が1.45、「子育て支援の充実」と「下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理」がともに1.38の順に高くなっています。少子高齢化の進行を背景に、健康医療、福祉及び子育て支援に資する体制や施設の充実が重要度の高い施策として挙げられます。

また、道路や公共交通に関連する施策では、「身近な生活道路の整備」が1.34、「バス・鉄道など公共交通の充実」が1.27と加重平均値が高く、重要度の高い施策として挙げられます。

重要度の加重平均値が低い施策としては、「商業の振興」「工業の振興」「観光の振興」「農林水産業の振興」などがいずれも0.9前後となっています。一方で、「新産業や雇用の創出」は1.21であり、産業の分野にはとらわれない全産業からみた働き場や雇用の拡大への施策が重要と言えます。

満足度の加重平均値をみると、「下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理」が0.49で最も高く、次いで、「ごみ処理と減量・リサイクルの推進」が0.48、「環境問題対策の推進」が0.12、「幼稚園や小・中学校の施設の整備」が0.08、「自然環境・景観の保全・活用」が0.03の順で続き、加重平均値がプラスとなる満足度が高い対策となっています。環境保全や衛生的な生活環境に関する分野、教育に関する分野で高くなっています。

満足度の加重平均値が低い施策をみると、「バス・鉄道など公共交通の充実」が-0.63で最も低く、唯一、-0.5を下回っています。次いで、「耐震化や空き家対策など住環境の整備」が-0.41、「新産業や雇用の創出」が-0.40、「地域医療体制の充実」が-0.32の順で満足度が低くなっています。また、産業の分野では、「商業の振興」「工業の振興」「観光の振興」「農林水産業の振興」などがいずれも-0.20を下回り、満足度が低く不満が大きい施策となっています。

重要度と満足度の相関をみると、「重要度」が高く「満足度」が低い、『早急に問題解決に取り組むべき施策』としては、「バス・鉄道など公共交通の充実」「新産業や雇用の創出」「地域医療体制の充実」「身近な生活道路の整備」などが挙げられます。

「重要度」「満足度」がともに高い、『現在の取り組みを維持・充実していくべき施策』としては、「下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理」「ごみ処理と減量・リサイクルの推進」「幼稚園や小・中学校の施設の整備」「高齢者福祉・介護保険制度の充実」などが挙げられます。

「重要度」低く「満足度」が高い、『現状の問題点であるが、長期的展望で取り組むべき施策』としては、「商業の振興」「工業の振興」「観光の振興」「農林水産業の振興」などの産業・経済活動や「耐震化や空き家対策など住環境の整備」「公園・広場の整備」が挙げられます。

(3) 結果のまとめ

①土地利用

- ○「新たな産業誘致や雇用の創出」は、早急に解決すべき喫緊な課題として挙げられます。
- ○商業、工業、観光、農林水産業の「産業・経済の対策」については現状評価が低く、問題

点として挙げられます。

○建築物の耐震化や空き家などの「住環境」については現状の大きな問題点として挙げられますが、長期的に対応すべき施策として挙げられます。

②道路・公共交通

- ○「公共交通の充実」は、最も満足度が低く、早急に解決すべき喫緊な課題として挙げられます。
- ○道路のうち、「生活道路の整備」は、早急に解決すべき問題として挙げられます。
- ○「幹線道路の整備」は現在進められている道路整備を継続して進めていくことが望まれて います。

③都市施設(道路を除く)

- ○「下水道・浄化槽の汚水処理」は、満足度が高く、現在の取り組みを維持していくことが 望まれています。
- ○「地域医療」は、早急に解決すべき問題として強い要望があります。
- ○高齢者や子育て世代への支援など「福祉の充実」「子育て支援の充実」及び「教育施設の 整備」は、現状評価は概ね満足されているものの、今後の問題解決に取り組むべき施策と して挙げられています。

④都市環境(歴史文化、環境保全、防災)

- ○都市環境については、満足度が比較的高く、現況の取り組みが評価されています。
- ○「ごみ処理・リサイクル」は、満足度が高く、現在の取り組みを維持していくことが望まれています。
- ○「防災・防犯対策」「自然環境・景観」「環境問題対策」については、重要度、満足度と もに中位にあります。

⑤協働・連携

- ○「協働まちづくり」は、中位に位置しています。
- ○「地域間・都市間交流」「周辺自治体との連携」は、重要度が低くなっています。

		施策分野	重要度	満足度	施策の取り組みの方向性
1		耐震化や空き家対策など住環境の整備	1.02	-0.41	A
2		農林水産業の振興	0.89	-0.23	A
3	土地利用	商業の振興	0.93	-0.27	A
4	雇用•産業	工業の振興	0.92	-0.22	A
5		観光の振興	0.90	-0.22	A
6		新産業や雇用の創出	1.21	-0.40	•
7		国道・県道などの幹線道路の整備	1.20	-0.07	0
8	道路·交通	身近な生活道路の整備	1.34	-0.21	•
9		バス・鉄道など公共交通の充実	1.27	-0.63	•
10		公園・広場の整備	0.63	-0.11	A
11		下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理	1.38	0.49	0
12		高齢者福祉・介護保険制度の充実	1.45	-0.03	0
13	都市施設	地域で支え合う地域福祉の充実	1.15	-0.06	0
14		子育て支援の充実	1.38	-0.12	•
15		地域医療体制の充実	1.57	-0.32	•
16		幼稚園や小・中学校の施設の整備	1.19	0.08	0
17		歴史・文化・芸術的資産の保全と活用	0.62	0.00	
18		自然環境・景観の保全・活用	1.03	0.03	
19	歴史文化	防災・減災のための環境の整備	1.21	-0.11	•
20	環境·防災	防犯・交通安全のための環境の整備	1.20	-0.02	0
21		ごみ処理と減量・リサイクルの推進	1.24	0.48	0
22		環境問題対策の推進	0.98	0.12	
23		協働によるまちづくりの推進	1.09	-0.05	0
24	協働∙連携	地域間交流や都市間交流の推進	0.54	-0.01	_
25		周辺自治体との連携強化	0.89	-0.04	
		1~25満足度と重要度の平均値	1.09	-0.09	

満足度: 低

満足度:高

満足度: 低

1.00

満足度

■早急に問題解決に取り組むべき施策□現在の取り組みを維持・充実していくべき施策■長期的展望で取り組むべき施策重要度: 低

重要度

-1.00

-0.50

現在の取り組みを維持・充実 2.00 していくべき施策 早急に問題解決に取り 組むべき施策 Œ 1.50 1.00 重要度平均值 1.09 現況において、特に問題がない が、引き続き施策向上に努める 0.50 満足度平均値 長期的展望で取り -0.09 組むべき施策 0.00

0.50

0.00

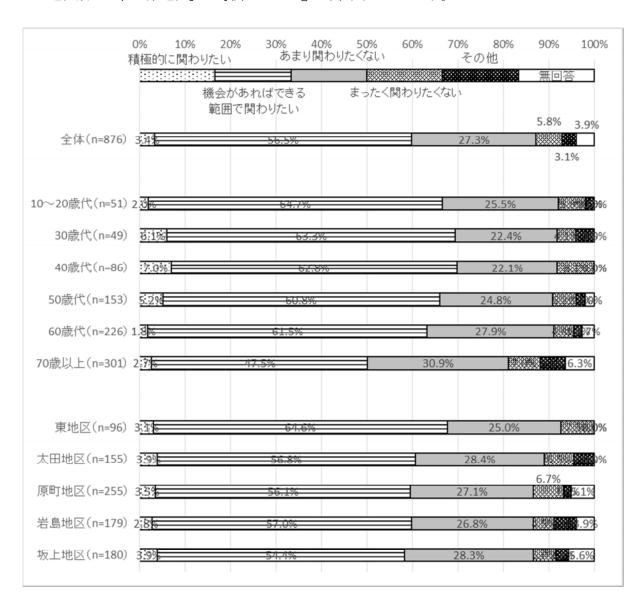
3-2-2 まちづくりへの関与の意向

問 あなたは、自分の持つ知識や経緯、時間的なゆとりなどを活かして、東吾妻町のまちづく りに関わりたいと思いますか。(1つに〇)

「機会があればできる範囲で関わりたい」が56.5%で最も高く、過半数を占めています。次いで、「あまり関わりたくない」が27.3%で約3割となっています。「積極的に関わりたい」と「機会があればできる範囲で関わりたい」を合わせた『関わりたい』は59.9%で、約6割がまちづくりに関わりたい意向を持っています。

年齢別では、「30歳代」「40歳代」で『関わりたい』が高く、年代が上がるに従って減少し、70歳以上の『関わりたい』は5割を下回っています。

地区別では、「東地区」で『関わりたい』が高くなっています。



第4章 アンケート分析のまとめ

これまでの集計、分析の結果を踏まえ、各調査結果から得た特性や意向の比較や集約を行うとともに、都市計画マスタープランへの反映を検討する事項をとりまとめます。

4-1. 土地利用

(1)町全体

	意見の比較・まとめ	
分野	○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用	計画への反映を検討する事項
	★年齢別の比較、■中学生意見	
	○定住促進や空き家対策に不満が高く、問題とし	◆定住促進の受け皿となる住
	て認識されていますが、施策の重要度は低くな	宅地の供給と住環境の改善
	っています。	◆空き家による住環境の悪化
住居系	○定住促進は重要度も高く早急な対応が求められ	の防止
	ています。	◆若い世代向け住宅供給 (次
	★【年齢別】居住を地域の自慢とする意識は、中	世代のニーズ)
	堅層で低くなっています。若い世代向け住宅供	
	給の取り組みが望まれています。	
	○日用品の買い物は、主に本町内で行なわれてい	◆既存商店街、沿道サービス
	ます。	施設の充実と活性化
	■【中学生】日用品の買い物は自宅の近くで多く、町民と同様の傾向です。	◆地区における身近な買い物 環境の維持
	○ ○ ○	・ 環境の維持・ 量割光商業・イベントなどの
	ます。	を実による町の賑わいづく
	■【中学生】買い回り品の買い物は自宅の近く以	り (次世代の二一ズ)
	外の本町内が多く、行動範囲が狭くなっていま	/ (SCE) (W
	す。	
商業系	○商業の活性化・本町の賑わいづくりが求められ	
	ています。	
	○今後のまちづくりに必要な取り組みで、働ける	
	店舗を増やすことが挙げられています。	
	■【中学生】直してほしいところで、買い物の便	
	利さ、休日の遊び場が挙げられ、町民と同様、	
	店舗の充実と賑わいづくりが望まれています。	
	★【年齢別】商業などを地域の自慢とする意識	
	は、中堅層で低くなっています。	
	○今後のまちづくりに必要な取り組みで、働ける	◆雇用促進を図るための新た
工業系	工場・事務所を増やすことが挙げられていま	な企業誘致の受け皿となる 工業・業務地の確保
	」 す。 ○雇用促進を図る取り組みが求められています。	工未・未務地の惟休
	○遊休農地、山林の維持管理の対策に不満が高	◆山林・水辺等の自然環境の
	く、問題として認識されています。	維持保全と活用(次世代の
自然的土地	○豊かな自然環境は本町の自慢となっています。	ニーズ)
利用(農	★【年齢別】豊かな自然や農地などを地域の自慢	
地、山林を	とする意識は若い年齢層で高く、保全への取り	
含む)	組みが望まれています。	
	■【中学生】緑豊かな田園や山林の風景が最も良	
	いところで挙げられています。	

(2)地区別

地区	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
東地区	 ○自然、農林業の自然的土地利用と集落の生活環境との調和が地区の自慢となっています。 ○定住促進対策は早急に取り組んでいくべき課題として挙げられます。 ○買い物の不便さが地区の問題として挙げられます。 ■【中学生】身近な買い物に対する不満が挙げられます。 	◆自然的土地利用の維持保全 ◆人口減少、コミュニティ崩壊などの実態を踏まえた地区ごとの定住化・集落居住維持の対策への取り組み ◆地区における商業環境の改善または他地区とのネットワーク強化(次世代のニーズ)
太田地区	○自然、農林業の自然的土地利用と集落の生活 環境との調和が地区の自慢となっています。 ○定住促進対策は早急に取り組んでいくべき課 題として挙げられます。	◆自然的土地利用の維持保全 ◆人口減少、コミュニティ崩 壊などの実態を踏まえた地 区ごとの定住化・集落居住 維持の対策への取り組み
原町地区	○都市的土地利用(住・商・工)が地区の自慢となっています。○定住促進対策は早急に取り組んでいくべき課題として挙げられます。○買い物のしやすさの評価が高いことが地区特性として挙げられています。	◆本町の都市活動の中心としての位置づけ ◆都市構造における中心商業地、商業拠点の位置づけ ◆人口減少、コミュニティ崩壊などの実態を踏まえた地区ごとの定住化・住環境維持の対策への取り組み
岩島地区	○自然、農林業の自然的土地利用と集落の生活 環境との調和が地区の自慢となっています。 ○定住促進対策は早急に取り組んでいくべき課 題として挙げられます。	◆自然的土地利用の維持保全 ◆人口減少、コミュニティ崩壊などの実態を踏まえた地区ごとの定住化・集落居住維持の対策への取り組み
坂上地区	 ○豊かな自然環境や農林業の自然的土地利用が地区の自慢となっています。 ○定住促進対策は早急に取り組んでいくべき課題として挙げられます。 ○買い物の不便さは、早急に対策強化に取り組んでいくべき課題となっています。 ■【中学生】身近な買い物に対する不満が挙げられます。 	◆自然的土地利用の維持保全 ◆人口減少、コミュニティ崩壊などの実態を踏まえた地区ごとの定住化・集落居住維持の対策への取り組み ◆地区における商業環境の改善または他地区とのネットワーク強化(次世代のニーズ)

4-2. 都市施設

(1)町全体

分野	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
道路	▲【総計評価】生活道路の整備は、早急に解決 すべき問題として挙げられます。	◆生活道路の整備・改善の促 進
公共交通	 ○町民の交通手段は自動車等への依存度が高い状況です。 ○公共交通(鉄道、路線バス等)はあまり利用されていません。 ○今後のまちづくりに必要な取り組みに公共交通の充実が挙げられています。 ▲【総計評価】公共交通の充実は、最も満足度が低く、早急に解決すべき喫緊な課題として挙げられます。 ■【中学生】スクールバスの利用が多くなっています。 	◆公共交通の維持・利用促進 及びネットワーク化の再構築◆スクールバス運営の維持
公園	■【中学生】公園の充実を求める意見が多くなっています。	◆公園の配置、整備及び維持 管理のあり方の検討
下水道・浄 化槽	▲【総計評価】満足度が高く、現在の取り組み を維持していくことが望まれています。	◆現在の取り組みの継続
福祉系施設	 ○現状では施策に対する不満は抑制されています。 ○高齢化対策は最も重要度が高い施策であり、早急な対策が求められます。 ○今後のまちづくりに最も必要な取り組みに高齢者、障がい者等の福祉施設の充実など、高齢者にやさしいまちづくりへの取り組みが求められています。 ■【中学生】施設の充実を求める意見が多く、町民と意見が共通しています。 	◆今後、更なる少子高齢化の 進行に対応するための福祉 施設の充実 (次世代の二一 ズ)
子育て支援 施設	○子育て支援は重要度が高い施策として挙げられています。○今後のまちづくりに最も必要な取り組みに子育て支援の施設の充実が挙げられています。■【中学生】施設の充実を求める意見が多く、町民と意見が共通しています。	◆安心して子育てのための支援施設の充実 (次世代のニーズ)
医療健康施設	○医療機関は本町内での行動が過半で、また、 隣接市町との繋がりもみられます。▲【総計評価】地域医療体制は、早急に解決すべき問題として強い要望があります。■【中学生】医療機関の行き先は町民と同様の傾向となっています。	◆本町内の医療の機能維持◆今後、更なる高齢化の進行に対応するための医療健康施設の充実

(2)地区別

地区	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
東地区	○高齢化対策は最重要課題として取り組んでい くことが望まれています。	◆地域おいてできる高齢化対 策の検討
太田地区	○高齢化対策は最重要課題として取り組んでいくことが望まれています。	◆地域おいてできる高齢化対 策の検討
原町地区	 ○高齢化対策は最重要課題として取り組んでいくことが望まれています。 ○子育てのしやすさは評価が高く、地区の特性になっています。 ■【中学生】徒歩・自転車による通学が多くなっています。 ■【中学生】身近な公園整備は評価されています。 	◆安全な通学を確保するため の歩行者空間の形成
岩島地区	○高齢化対策は最重要課題として取り組んでいくことが望まれています。	◆地域おいてできる高齢化対 策の検討
坂上地区	○高齢化対策は最重要課題として取り組んでいくことが望まれています。○子育てのしやすさは、早急に対策強化に取り組んでいくべき課題となっています。	◆地域おいてできる高齢化及 び子育て支援対策の検討

4-3. 都市環境

(1)町全体

分野	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
環境問題	▲【総計評価】満足度が比較的高く、現況の取り組みが評価されています。現在の取り組みを維持していくことが望まれています。	_

(2)地区別

地区	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
東地区	○観光や交流が地区の特徴の一つとなっていま す。	◆観光・交流の地区の役割と 都市構造における拠点の位 置づけ
太田地区	_	_
原町地区	_	_
岩島地区	○観光や交流が地区の特徴の一つとなっていま す。	◆観光・交流の地区の役割と 都市構造における拠点の位 置づけ
坂上地区	_	_

4-4. 都市景観

(1)町全体

分野	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
自然景観	■【中学生】緑豊かな田園や山林の風景が最も 良いところとされています。	_
歴史資源の 景観	■【中学生】歴史のある社寺や史跡などの風景 が良いところとされています。	_

(2)地区別

地区	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
東地区		_
太田地区	ľ	_
原町地区	■【中学生】国道145号の沿道景観が評価されています。	◆沿道景観の維持・充実 (次 世代のニーズ)
岩島地区	■【中学生】国道145号の沿道景観が評価されて います。	◆沿道景観の維持・充実 (次 世代のニーズ)
坂上地区	■ 【中学生】 自然景観に対する評価が低くなっています。	◆自然環境・景観の悪化への 懸念と対応の検討 (次世代 のニーズ)

4-5. 防災対策

(1)町全体

分野	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
避難場所・ 避難路	○町民意識としては大きな問題と捉えられていません。	◆防災への意識希薄の問題点 と啓発活動
自然災害	○町民意識としては大きな問題と捉えられていません。【中学生】自然災害への意識は低く、まちづくりの問題としての認識は低い状況です。	◆防災への意識希薄の問題点 と啓発活動

(2)地区別

地区	意見の比較・まとめ ○町民意見、▲総合計画調査の評価を活用 ★年齢別の比較、■中学生意見	計画への反映を検討する事項
東地区	○災害時の避難が問題点として挙げられています。	◆地域における避難体制の充 実
太田地区	1	_
原町地区	○自然災害、災害時の避難について現状では問 題意識は低いものの、その対策が望まれてい ます。	◆地域における防災対策の充 実
岩島地区	○自然災害、災害時の避難について現状では問 題意識は低いものの、その対策が望まれてい ます。	◆地域における防災対策の充 実
坂上地区	ı	_

4-6. 本町の将来像

町民	中学生	反映を検討する事項
良好な生活環境が整ったまち 【年齢別】各世代とも多い	※少数意見	◆将来像の検討の参考意見
福祉の充実したまち 【年齢別】高齢層で多い	※少数意見	◆将来像の検討の参考意見
医療が受けられ、健康なまち 【年齢別】中堅層・高齢層で 多い	※少数意見	◆将来像の検討の参考意見
安心な子育てのまち 【年齢別】次世代層で多い	■ 「子育て世代」 (キーワード)	◆町民、中学生ともに共通した将来像の共通したキーワード
※少数意見	■「 賑わい 」(キーワード) が最も多い	◆若者が求める将来像の意見 として検討 (次世代の二一 ズ)
※少数意見	■「自然」 (キーワード)が 多い	◆若者が求める将来像の意見 として検討 (次世代の二一 ズ)